



が宝だ!

協働のまち

飾



葛飾区協働事例集

発行日：平成28年3月
発行：葛飾区
〒124-8555 東京都葛飾区立石 5-13-1
電話 03-3695-1111 (代表)
<http://www.city.katsushika.lg.jp>

編集：葛飾区政策経営部政策企画課
電話 03-5654-8177 (直通)

取材・編集・デザイン：株式会社Jリポート

葛飾区
協働事例集
2016年版

葛飾区協働事例集の発行にあたって



葛飾区は、人情にあふれ、地域内での人と人とのきずなが強い土地柄です。そのため、かねてより様々な人や団体、工業、商業、農業をはじめとする区内産業に携わる方々などにより、地域を良くしようとする活動が連携して行われてまいりました。

このきずなによる活動は、現在に至っても脈々と受け継がれています。この特色を大切にするとともに、さらに大きく発展させて、本区と関わりのある方々や団体、事業者の皆様がそれぞれの特色を生かして協働することにより、地域を良くしようという活動はより一層の効果をあげることができます。

そして、この協働の取り組みが広がり、積み重ねられていくことにより、「夢と誇りあるふるさと葛飾」を築くことができると考えています。

現在も様々な形で協働による素晴らしい活動や事業が活発に行われています。そのごく一部ではありますが、皆様にご紹介したいと考え、昨年に引き続き、新たな事例をご覧下さい。

平成27年の発行では、ご紹介した方々をはじめ、各方面の皆様からの反響も大きく、喜んでいただきました。今年も、この事例集により、本区で行われている協働の取り組みやそれに携わる方々の熱い思いなどを皆様にお伝えし、一人でも多くの方に地域を良くする活動に関心を持っていただき、また、参加していただけるようになればと考えております。

最後になりますが、本事例集の作成にあたって取材にご協力いただいた皆様に心より感謝いたします。ありがとうございました。

平成 28 年 (2016 年) 3 月

葛飾区長 **青木 克徳**

- **生きものトランプで出前講座 生物多様性を楽しく学ぶ**
葛飾区生物多様性推進協議会 かつしか生きものトランプ部会 …… 36
- **町の今昔を知り、伝える 集めた写真を有効活用** 町の文化と歴史をひもとく会 …… 38
- **今だから語る! 被爆体験を子どもたちに** 葛飾原爆被爆者の会(葛友会) …… 40
- **再発見! 銭湯とまちの魅力 歩いて浴びて“いい湯だな”**
葛飾区浴場組合連合会「銭湯ウォーク」 …… 42
- **シニアが元気に集う! 人気のまち歩きツアー** 葛飾のまち歩きを創る会 …… 44
- **寅さんのまちを“語り隊” 一期一会の柴又人情ガイド**
葛飾区シニア観光ボランティアガイド「かつしか語り隊」の会 …… 46
- **集まれ! 農業応援サポーター 農家の人手不足を解消** 農業応援サポーター …… 48
- **行列ができる“元気野菜” 即売会は売り切れ続出!**
JA東京スマイル葛飾直売部会・消費者団体連合会 …… 50
- **ゆるキャラ ほりきりん ただいま人気上昇中!** ほりきりん …… 52
- **必殺! ゼロングツイスター ヒーローがまちを元気に** ゼロングプロモーション …… 54
- **パフォーマーが集結! 亀有を芸人たちのまちに** 亀有パフォーマンスパーク …… 56
- **ユニーク! 市民団体が連携 新たな地域貢献を生む!** かつしか市民活動ネットワーク …… 58
- **我がまちは、住んで楽し! 娯楽を生む人、集う人** 葛飾区観光協会鎌倉支部 …… 60
- **夏の風物詩ハワイアン 新小岩にフラダンスあり!**
新小岩えきひろフェスティバル実行委員会 …… 62
- **盛況! 花と音楽の祭典 まちおこしは大学と共に**
花・楽・Café 金町駅北口周辺地区まちづくり協議会 …… 64
- 【人材育成課からのお知らせ】平成27年度 採用2年目職員研修 …… 66
- 【協働推進担当からのお知らせ】職員出前講座 …… 68

- 区長あいさつ …… 1
- **行政に、住民の意見を集約 まちづくりは“和”の心で** ほっとマイタウン四つ木 …… 4
- **不法投棄にNO! モラル向上に地域の目** 堀切南町会 …… 6
- **高齢者や主婦が放水訓練 地域を守れ! 市民消火隊** 市民消火隊 …… 8
- **住民の命と財産を守る! 消防団、地域愛護の心意気** 消防団 …… 10
- **活動歴35年! 親子で楽しむみるく座の人形劇ワールド** 人形劇団 みるく座 …… 12
- **犯罪危険地図をもとに環境改善 子どもを犯罪から守る!**
子どもを犯罪から守るまちづくり活動推進会 …… 14
- **住民と行政の“橋渡し役” 行政相談で住み良い葛飾に** 葛飾区行政相談委員協議会 …… 16
- **区民目線で地域情報発信 伝えたい! 葛飾の魅力** 葛飾エフエム放送 …… 18
- **母のように、祖母のように 更生保護と子育て支援** 葛飾区更生保護女性会 …… 20
- **障害のある方にパソコン教室 社会参加のきっかけを**
特定非営利活動法人 ユニコムかつしか …… 22
- **若者に広がる薬物汚染 危険ドラッグの怖さを伝える**
東京都薬物乱用防止推進葛飾地区協議会 …… 24
- **楽しい! 人気イベントで広がる“食育の輪”** 葛飾区フリー活動栄養士会 …… 26
- **エンジョイ! スポーツ 世代を超えて元気なまちに**
特定非営利活動法人 こやのエンジョイくらぶ …… 28
- **障害者もトランポリンで 地域をつなぐスポーツの輪**
一般社団法人 オール水元スポーツクラブ …… 30
- **めざせ! Jリーグ 夢の“翼スタジアム”でプレイ** 南葛SC …… 32
- **花いっぱい! 緑化推進 けん引役が奮戦努力** 葛飾区緑化推進協力員会 …… 34



整備された四つ木つばさ公園



密集事業の成果を他地区の住民に現地説明



まちづくり見学会に集まった皆さん

ほっとマイタウン四つ木

行政に、住民の意見を集約 まちづくりは“和”の心で



事務局長 関口 徹さん

まちづくりは結局「ひとつの心」
人とのあったかい交流で
まちがきれいになること



INTERVIEW

「ほっとマイタウン四つ木」は、四ツ木駅高架工事や道路整備計画などをまちづくりのチャンスと捉えて、平成12年に誕生しました。

誕生当時の四ツ木地域は、木造住宅と工場が混在する密集市街地で、道路や公園などが未整備な状態で、災害時に大きな被害が想定されました。商店街の活力の減少にも危機感があり、3つの町会と商店街の代表が、「ずっと住んでいたいまちづくり」をスローガンに、「災害に強く、にぎわいのあるまちづくり」をめざし活動をしています。これまで120回以上の検討会、まちづくり勉強会や見学会も随時行いました。これらの活動などを周知する「四ツ木まちづくりニュース」の発行は、15年間続けています。他にも、

四ツ木駅では、フラワーポットを置いて草花を育てています。

地元の方々からの信頼も厚く、道路の拡幅や公園を整備する区の密集事業の推進にあたっては、地元との架け橋になるなど、四ツ木地域の安全・安心なまちづくりに向けて、その活動は高く評価されています。

INTERVIEW

関口 徹さん

まちづくりが大好きなんです。最初は道路の拡幅とかで始まった活動だけど、結局、まちづくりは「ひとつ」ではないのかな。最初は工事に反対する人への対応が大変でしたけど、役所のサポートがしっかりあったこと、これが大きかった。役所の人が「役所の力をせよ、素顔を見せて関わってほしいんです。」

やっぱり人とのあったかい交流があつて、豊かな気持ちになって、それでまちがきれいになっていく。お年寄りから子どもまで一体感が持てる活動をして、ずっと住み続けたい、いいまちにしたいですね。

協働の仕組み

区

●街づくり推進課

- ・主要生活道路の拡幅整備
- ・公園の整備
- ・まちの不燃化促進
- ・まちづくり方針の作成

意見・要望
事業協力

情報提供
合意形成
活動支援

区民

●ほっとマイタウン四つ木

- ・ニュースによる活動周知
- ・地域課題や要望などの集約
- ・事業推進への提案・協力
- ・まちのにぎわい(活力)創出活動
- ・「ずっと住み続けたいまち」のPR

構成団体

- ・四つ木一丁目西町会
- ・四つ木一丁目中町会、四つ木町会
- ・まいろーど四つ木商店街振興組合
- ・四ツ木駅周辺地域街づくり協議会

1

区の事業で、地元への理解を得る活動実績が豊富

2

「まちづくりは自分たちの手で」がキャッチフレーズ

3

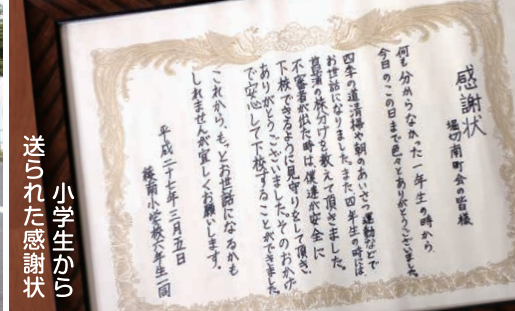
行政等の交渉はつねに円満解決をめざす



ほっとマイタウン
四つ木の皆さん



資源・ごみ集積所のパトロール



小学生から送られた感謝状



不法投棄の家具類を発見!



監視カメラを設置し不法投棄を抑止します



堀切南町会

不法投棄にNO! モラル向上に地域の目



左から 中川 博夫さん・会長 岡田 明夫さん・井野 修さん

良い意味で「おせっかい」な人を増やしたいんですよ
まちづくりのため...



INTERVIEW

堀切南町会は、粗大ごみなどの不法投棄防止活動モデル事業第1号として、地域のパトロールや資源・ごみ集積所の清掃などを行い、誰もが安心して安全に住み続けられるまちになるように、不法投棄されない環境づくりに取り組んでいます。

多かった不法投棄を無くすために、警告看板や監視カメラを設置し、その設置場所や看板のデザインを堀切南町会が担当しました。葛飾区と連携して不法投棄を警告し、成果を上げています。

他にも、落葉の季節には小学校に出向き、児童にはほうきの使い方や掃除の仕方を教える活動もしています。

ごみの問題は、住民一人ひとりのモラルの向上が大切であると考え、町会

の会議などで区や地域住民と話し合ったり、資源ごみの勉強会「職員出前講座」を行ってきました。

その結果、ごみに対する住民たちの意識が高まり、不法投棄の件数も減り、まちはきれいになりました。

今後もこの活動に、積極的に取り組む意向です。

INTERVIEW

中川 博夫さん、岡田 明夫さん、井野 修さん



活動当初は本当にひどかったですね。冷蔵庫やエアコン、ダブルベッドなんかも捨てられていて。それがね、本当にきれいになりました。町内パトロールやごみの分別の声掛けを地道に続けてきたから、個人のマナーが良くなったんです。

小学生と一緒に清掃活動をしているんですが、子どもたちから卒業式に感謝状をもらってね。とても嬉しかったですよ。

良い意味で「おせっかい」な人を増やしたいんですよ。町会の目標である、誰もが安心して、安全に暮らせるまちづくりをするためにもね。

協働の仕組み

区

● リサイクル清掃課

- 警告看板の作成
- 監視カメラの設置、運用
- 警察に悪質な不法投棄の相談

区民

● 堀切南町会

- 不法投棄監視パトロールの実施
- 地域やごみ集積所等のこまめな清掃
- ごみ集積所等に警告看板を設置
- 監視カメラ設置場所の状況確認、区への報告
- 回覧板による清掃事業の周知
- 職員出前講座を活用した「ごみ・資源に関する学習」

1 活動の結果
不法投棄が減少

2 ごみに関する
マナーの向上

3 地域住民の関わりが
活発になる



看板で警告!



パトロールや
不法投棄禁止の



初期消火で活躍する
可搬消防ポンプを
使った訓練



市民消火隊

高齢者や主婦が放水訓練 地域を守れ! 市民消火隊



新栄町会市民消火隊 隊長 中島 利之さん

人情のあるまちですから
いざという時は、
みんなでまちを守ります



INTERVIEW

市民消火隊は、災害時に消防車到着までの初期消火を担い、延焼を防いで被害を最小限に抑えるボランティア活動をしており、現在葛飾区に32団体あります。

日頃の活動は、訓練やポンプの点検、そして普通救命講習の受講など、災害時に迅速に対応できるように、準備しておくことです。また、市民消火隊の隊長たちは、定期的に集まって、情報交換をするなど連絡会を開いています。

東日本大震災の時には、交通機関がマヒし帰宅困難者が続出しました。そういった災害時には、隊員たちが揃わないことも考えられ、普段家を預かる主婦や高齢者の協力も必要で、日頃から地域の人たちと良好な関係

を築いておくのも市民消火隊の重要な役割です。

今回インタビューした新栄町会市民消火隊は、町会の高齢者にも放水訓練に参加してもらうなど、「向こう三軒両隣」の助け合い精神で地域を守っています。

INTERVIEW

中島 利之さん

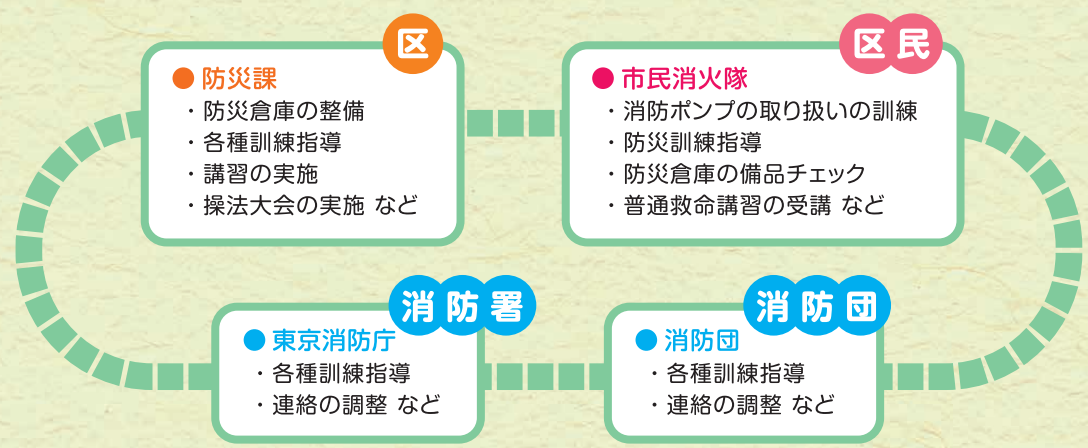


活動していて嬉しかったのは、平成14年の葛飾区市民消火隊操法大会で優勝し、町会の皆さんに市民消火隊を知ってもらえるようになったことです。6連覇した時期もありますよ。

優勝したら、以前とは比べものにならないほど、地域のコミュニケーションがうまく取れるようになりました。町会の役員さんも協力してくれて、本当にありがたいです。

人情があるまちですから、市民消火隊の活動も理解してくれて…。いざという時は、みんなでまちを守るつもりです。

協働の仕組み



1 葛飾区市民消火隊操法大会で平成20年から6連覇

2 町会や住民とのコミュニケーションが良好

3 訓練に高齢者が積極的に参加



市民消火隊操法大会で日頃培った訓練の成果を競い合います

INTERVIEW

金町消防団・植木 豊治さん



昼間、この地域で家を守っているのは、お年寄りや主婦の方たちです。いざ災害が起きたら若い人の力が必要です。地域の防災訓練の時には、若い人にもっと積極的に参加してほしいと思います。

我々の活動は、イベントなどの警戒もあるんです。時には徹夜の時もある、冬なんかはとても寒いんです。また、酔った方もいるので、トラブルにならないよう、言葉遣い等に気をつけています。地域とのつながりが何より大事ですから、感謝される時などはお役に立っていることを実感しています。

INTERVIEW

本田消防団・鈴木 文康さん



消防団歴47年です。家業の酒屋は二の次(笑)、職業は消防団員と家族に言われ、何かあったらすぐ駆けつけるので、皆さん信頼してくれています。ただ、我々は災害時には、より被害が大きな場所に行くので、自分の地域の被害に対応できないこともあると思います。悩ましいところですが、町会や市民消防隊など地域の力が頼りで、日頃から一緒に訓練して連帯感を高めています。

そして女性。我が消防団は女性団員が103名いるんです。女性パワーにも大いに期待しています。

金町消防団・本田消防団

住民の命と財産を守る! 消防団、地域愛護の心意気



右 本田消防団 団長 鈴木 文康さん
左 金町消防団 団長 植木 豊治さん

我が消防団は女性団員が103名いるんです(鈴木さん)
地域とのつながりが何より大事です(植木さん)



INTERVIEW

消防団は、自分たちのまちは自分たちで守る——という地域愛護の精神で、災害活動をはじめ、地域住民への防火・防災指導や各種イベントなどの警戒活動などを行っています。

葛飾区には、本田消防団が16個分団、金町消防団が11個分団の計27個分団があります。平時時は、火災から住民の安全安心を守るための火災予防や広報活動、そして地域のまつりや商店会のイベントなどの警戒、また、地域の防災行動力を高めるために、初期消火や応急救護などの訓練指導をしています。特に、木造住宅密集地域で消防車が入って行けないところがあるため、震災時などは消防団の初期消火が大きな役割を担っています。



応急救護訓練(金町消防団)

災害時には消防署と連携した消火活動や、住民の救護・避難誘導、逃げ遅れた人たちの情報収集、現場での広報などが任務です。

震災などの大規模災害時においても、地域防災の要であり、東日本大震災以降、地域防災のあり方が問われる今、消防団は訓練に励み、災害に備えています。



住民の避難・誘導訓練(本田消防団)

消防団

- 金町消防団・本田消防団
 - ・有事の際の消防活動
 - ・各種訓練の実施
 - ・火災予防・広報活動
 - ・各種訓練指導
 - ・地域イベントなどの警戒活動 など

消防署

- 東京消防庁
 - ・各種訓練指導
 - ・連絡の調整 など

区民

- 市民消火隊
 - ・各種訓練の実施
- 区民
 - ・各種イベント時の警戒依頼

防災課

- ・補助金交付
- ・ゴムボートの貸与
- ・操法大会、合同点検への参加

協働の仕組み

1 地域防災の要として
初期消火が大きな役割

2 地域の防災行動力を
高める訓練を実施

3 防火指導や各種イベントの
警戒活動などを実施



放水訓練にも
団員たちの熱が入る
本田消防団

問い合わせ

<本田消防署> 直通電話: 03-3694-0119

<金町消防署> 直通電話: 03-3607-0119



稽古にも熟が入る



本番！人形たちが勢揃い



劇中の小物まで手づくり



舞台裏では…



人形劇団 みるく座

活動歴35年！親子で楽しむ みるく座の人形劇ワールド



宇関 トシ子さん

人形劇をきっかけにお友達が
増え、育児などについて交流
ができたらしいですよ

INTERVIEW

INTERVIEW

宇関 トシ子さん



私たちは児童館の3歳児サークルの仲間なんです。自分の子どもを喜ばせようと始めたんですが、気がついたら、観客はもう孫世代になっちゃいました。

劇の企画に始まって、人形の顔づくり、衣装等と、メンバーそれぞれが得意分野を担当しています。とても楽しいですよ。

親子で気軽に観に来て楽しんで欲しいですね。人形劇を通じて親子の会話が弾んだり、お友達ができたり、育児の大変さなどを話し合えたらいいですね。交流のきっかけになれば嬉しそうです。

を共有し合う子育て支援の場づくりにも、みるく座は長い間貢献してきました。

劇に使う人形や小道具はすべてメンバーの手づくり。センターまつりでは、人形劇の他に、人形づくり35年の技術を活かした手づくり小物が出品され、こちらも好評です。

1 子育てママ同士の
仲間づくりの大先輩

2 人形劇をきっかけとした
子育てひろばの利用促進

3 子どもたちの情緒を育む

協働の仕組み

区

● 金町子どもセンター

- ・週1回、舞台稽古や人形製作を行う活動場所の提供
- ・活動拠点として、舞台装置などの資材を保管

区民

● 人形劇団 みるく座

- ・センターでの年4回の公演（センター以外でも区内他所で公演を実施）
- ・センターまつりで、手づくり小物の配布を行う模擬店を運営
- ・センター運営協議会委員として、センターの運営に参加



劇団員の皆さん
チームワークが
50x2up





子どもたちに行ったアンケートの集計



子どもの安全を考えるつどい



公園の遊具をペイントで改修



環境改善の一環として
ベンチをペイントし
公園をきれいにする

子どもを犯罪から守るまちづくり活動推進会

犯罪危険地図をもとに環境改善 子どもを犯罪から守る!



会長 餌取 愛子さん

日頃から子どもたちを
守ってあげようとする大人の
まなざしが大切です



INTERVIEW

INTERVIEW

餌取 愛子さん

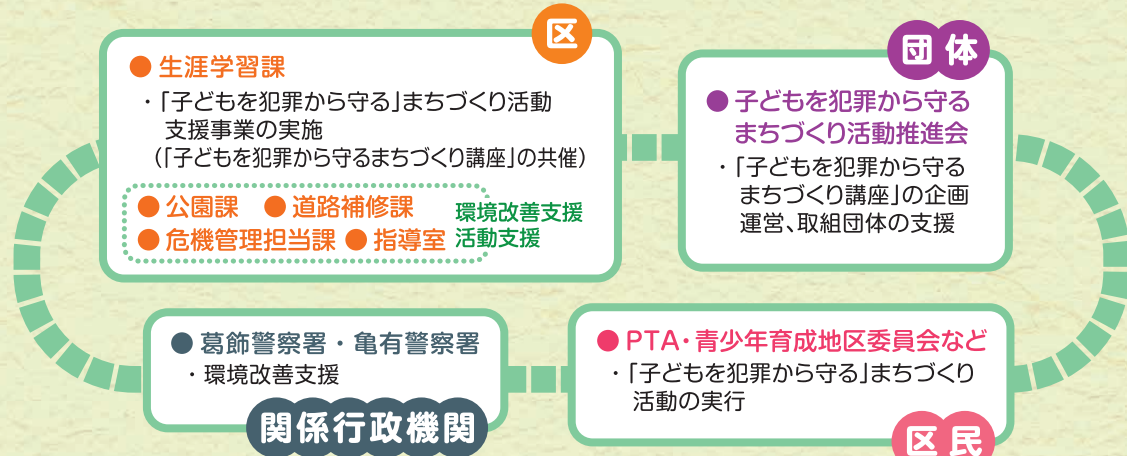
子どもたちからのアンケートをもとに「犯罪危険地図」を作っています。まちの中に潜む危険な場所ですよね、商店街だったり住宅地だったり…。現場を実際に見て、薄暗い場所は照明を付け、明るくするなど環境の改善に取り組んでいます。

監視カメラは、容疑者の特定には効果的ですが、いざという時に声を出してはくれません。やはり、日頃から子どもたちを守ってあげようとする大人のまなざしが大切だと思います。今後は、通学路の安全など、地域の課題も学びながら支援していきたいですね。

動の狙いやノウハウを学んでもらい、スムーズに取り組めるよう、活動する団体に寄り添いながら毎年支援を続けています。
葛飾区では、この活動を通じ、地域ぐるみで子どもを犯罪から守る取り組みが広がっています。

子どもを犯罪から守るまちづくり活動推進会は、青少年委員やPTAのOB・OGで組織され、PTAや地域の団体がまちの中に潜む危険な箇所などを改善する活動を、支援しています。
活動は3つのステップで進められ、
①公園や道路、商店街等で、子どもたちが危険な目に遭ったなどの場所をアンケート調査で明らかにし、「犯罪危険地図」を作る。②危険箇所をPTAをはじめ地域の多くの大人で見回り、危険の要因と改善策を考える、③行政と協働し、環境を改善する方策を実行する、というものです。
この活動に初めて取り組むには難しい内容もありますが、区の生涯学習課と共催で講座を開催し、この活

協働の仕組み



1 子どもたちのアンケートをもとに犯罪危険地図を作る

2 行政とも連携し危険箇所の環境を改善

3 犯罪被害率が低下し犯罪発生率が減少している



ワークショップで
犯罪危険箇所や
改善策について話し合う



積極的に区民に声がけ

行政相談委員の
皆さまみな
相談を受ける
皆さん

葛飾区行政相談委員協議会

住民と行政の“橋渡し役” 行政相談で住み良い葛飾に



会長 松丸 重蔵さん

出前教室では、生徒さんから行政への理解と興味がわきましたと言われて嬉しかったです



INTERVIEW

葛飾区行政相談委員協議会は、住民と行政の「橋渡し役」として、昭和41年に総務大臣から委嘱を受けて発足した民間のボランティア団体です。相談委員は民生委員、保護司、区の元職員、地域の人など7人で、地域住民の生活に密着したさまざまな苦情、意見・要望などをくみ取り、行政へ伝える役目を担っています。20年以上活動しているベテラン相談委員もいます。

相談はさまざまで、学校の前にガードレールがあって、救急車が入れないなどの事案もあり、協議会では国と話し合い、着脱式のガードレールに変更しました。活動は、葛飾区役所内の区民相談室で定期的に相談を受けているほか、年1回10月の行政相談週間では、亀有駅改札前通路で街頭行政相談を開催。相談件数は30件ほどあります。

また、区内中学校へ出向き「行政相談出前教室」を行っています。出前教室では、人間が生まれてから亡くなるまで行政が関わっていることを、分かりやすく教えています。

INTERVIEW

松丸 重蔵さん

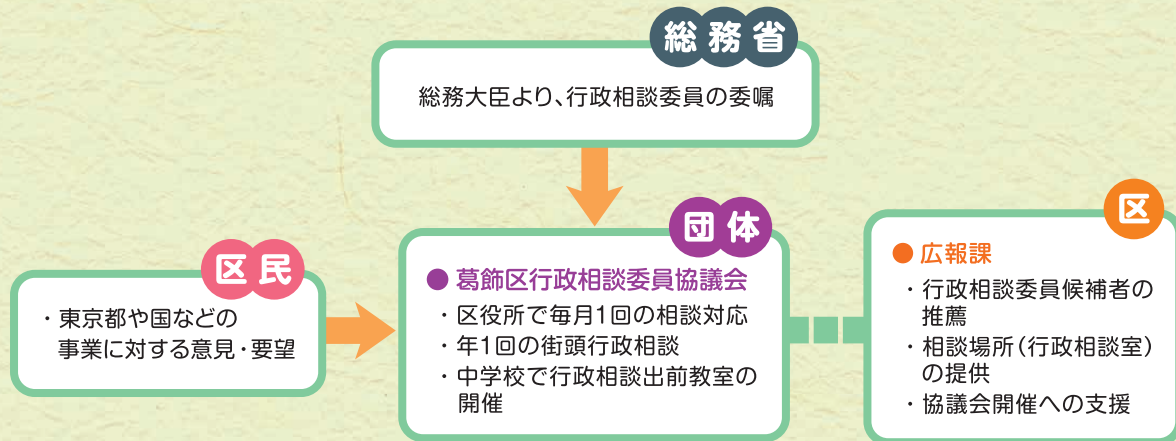


区民相談には、正解がないこともあるのですが、住民の皆さんと話す中で「ああ、これを悩んでいたんです」と理解してもらえることが、やりがいですね。それと、何度も同じ相談に来る人がいるんですが、じっくり耳を傾けて理解してもらっています。

葛飾区は、区長さんが率先して地域のイベントなどに参加したり、住民と行政の距離が近いんです。

区内中学校への出前教室では、得意のマジックを披露しながら、行政について楽しく話しています。生徒さんから「行政への理解と興味がわきました」と言ってくれているのが嬉しそうですね。

協働の仕組み



1 誰でも歓迎！
定期的な開催の行政相談

2 年1回、亀有駅改札前で
街頭行政相談を開催

3 大好評の出前教室
中学生にも行政をPR



亀有駅での
街頭行政相談には
たくさん人が訪れます



スタッフの皆さん



防災特番の様子



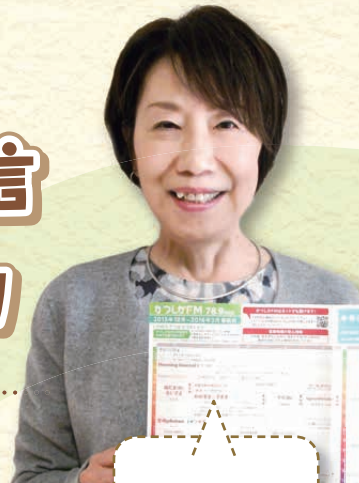
区主催のステージイベントも
行っています



地元の情報を
伝えるために
まちへ取材に
行きます

葛飾エフエム放送

区民目線で地域情報発信 伝えたい! 葛飾の魅力



取締役副社長 放送局長 佐々木 啓子さん
http://www.kfm789.co.jp

災害時には地域の情報を!
心細いお年寄りのためにも



INTERVIEW

葛飾エフエム放送株式会社は、商店街のお得情報や健康、育児など、区民に役立つ身近な情報が盛りだくさんの、地域密着型コミュニティ放送局。スタッフは、話題を求めてマイク片手に街へ繰り出し、地域のイベントでは企画段階から参加したり、区民自らが情報発信する機会を作ったりするなど、区民に寄り添った葛飾の魅力を発信しています。開局は平成9年4月。当時、阪神淡路大震災でのローカルFM局の活躍で、非常時の地域情報が見直され、葛飾にも地域密着型の放送局を、と設立されました。

大地震や風水害などで区内に被害が予想される場合は、地域の被害状況や防災対策、避難情報などをいち早く、そしてきめ細かく放送します。

また、日常の放送では、区の手続きなどについてのお知らせなど、固くなりがちな行政情報を、分かりやすく工夫して区民の視点で伝えていきます。

放送は、インターネットを通じ、24時間全番組がパソコンやスマートフォンで聴けるので、葛飾を離れた人にも懐かしいと好評です。



INTERVIEW

佐々木 啓子さん

「いざという時には、かつしかFMがあるじゃないか」とそう思われるようになったんです。災害時には、全国放送では放送されない地域の情報を伝えたいです。区内には一人暮らしのお年寄りも多く、そんな時、お年寄りには心細い思いをしていますからね。

最近、区内幼稚園・小・中学校の園歌・校歌を収録して、朝の番組で1校ずつ放送しています。これ、私の夢だったんですよ。子どもたちが大人になってこの地を離れても、懐かしく思い出してくれるように。今後も葛飾の魅力を発信し続けたいですね。

かつしかFM放送の
キャラクター「かつ坊」



事業者

- 葛飾エフエム放送株式会社
 - ・ 区政情報を生放送で提供(月～金)
 - ・ さまざまな区内イベントに参加
 - ・ 地域の情報を発信

「災害防災情報等の放送に関する協定」の締結

災害時には区からの災害防災情報を優先的に放送

区民・地域

- ・ リスナー
- ・ 番組への出演

協働の仕組み

区

- 広報課
 - ・ 行政情報の提供
 - ・ FM放送などに係る区役所内調整
- 防災課
 - ・ 防災ミニ情報の発信
 - ・ 災害防災情報の放送

スタジオ風景

地域情報を
わかりやすく発信!





子育ての
経験を活かして
活動しています

幼稚園で大人気！
おばあちゃんと昔遊び

“社会を明るくする運動”で輪踊りを披露

イベントでは手作りの品を出品

葛飾区更生保護女性会

母のように、祖母のように 更生保護と子育て支援



会長 滋田 慧子さん

女性の持つ温かさや
細やかさを活かした活動を
めざしています



INTERVIEW

葛飾区更生保護女性会は、更生保護に関する援助や、犯罪の抑止、子育て支援の活動をしています。

犯罪や非行などをした人たちの立ち直りを支える活動として、例えば、東京拘置所で開催される矯正展では、1000個のマドレーヌを焼き、売上金で拘置所に図書を寄贈。刑務所を出た人たちには、必要な衣類などを提供しています。法務省主催の「社会を明るくする運動」のイベントなど、啓発活動も行っています。

また、子育て支援にも力を入れ、地元幼稚園などで園児とお手玉やすごろくを楽しむ「おばあちゃんと昔遊び」は、園児や母親たちに大人気です。活動は地域の女性を中心に、女性保護司や男性保護司の奥さんにも参加

加していただき、Nobody is Perfect(人は誰も完璧ではない)の精神で、自身の子育て経験などを活かし、女性の視点で地域貢献をしています。会のシンボルマークは「ひまわり」。地域に根付く、みんなを明るく気にさせるひまわりのように…そんな気持ちで女性たちを活動に駆り立てています。

INTERVIEW

滋田 慧子さん



地域のおせっかいおばあさんになりたいんです。更生や犯罪予防の活動は、母親のような心で接しています。また、幼稚園などでの子育て支援は、おばあちゃんのような気持ちで園児と遊んでいます。私たちの活動が、明るい地域づくりにつながれば嬉しいですね。

私たち会員は、50〜80代にわたりますが、皆さんパワフルで、行動的です。矯正展などのイベントでも、準備から本番まで、皆さん精力的に動きまわります。活動は、無理をせず、長く、細く、何より楽しく、今後もずっと続けていきたいですね。

協働の仕組み

区

● 地域振興課

- ・ 地域での活動を行うための拠点(葛飾区更生保護サポートセンター)の提供
- ・ 「かつしか区民の集い」など社会を明るくする運動への参加

団体

● 葛飾区更生保護女性会

- ・ 更生保護に関する援助活動
- ・ 犯罪予防活動
- ・ 子育て支援活動

1 女性の視点で
更生・犯罪抑止活動

2 青少年の健全育成など
活動は多岐にわたる

3 会員には女性保護司や
男性保護司の奥さんも…



マドレーヌ1000個
売上金で拘置所に
図書を寄贈



ユニコムかつしかの皆さん



障害者講習はマンツーマンで行われています



シニアのためのパソコン教室

特定非営利活動法人 ユニコムかつしか

障害のある方にパソコン教室 社会参加のきっかけを



代表理事 大島 進さん

受講生がパソコンをできる
ようになったときは、すばやく
幸せな気持ちになります



INTERVIEW

NPO法人ユニコムかつしかは、障害者や高齢者へのパソコン講習会を実施しています。パソコンは難しいものではなく、楽しくて便利と実感してもらい、知識やコミュニケーションを広げることが目的としています。

特に視覚障害者向けの講習は、葛飾区内で唯一ということもあり好評です。病気の影響や事故など、人生の途上で視覚の障害をもつようになった場合、外出や情報取得が急に困難になり、こもりがちになる人もいます。パソコン上の文字を読み上げる音声ソフトの活用を身に付けることで、インターネットやメールなど、コミュニケーションの機会が増え、社会参加のきっかけになることもあります。

視覚障害の他にも身体、知的障害者

講習もあり、いずれも受講者の個性や経験に合わせたマンツーマンの指導がわかりやすく、テキスト代のみで受講できると喜ばれています。また、高齢者や一般区民、就労者向け講習でパソコンやタブレット学習の支援も行っており、今後はスマートフォン講座なども開催していく予定です。

INTERVIEW

大島 進さん



受講生の多くは、パソコンが難しいという先入観があるので、まずは面白いとか、楽しい、便利だ、とパソコンになじんでもらえるように心がけています。皆さん、とても楽しんでくれていますよ。

私たちが教えるという上から目線ではなく、一緒に勉強しましょう、という姿勢で活動しています。

できないことができるようになった時の受講生の喜びって、大きいんです。それを目の当たりにした時は、すごく幸せな気持ちになります。

結局、受講生の喜びって、私たちの喜びでもあるんですね。

開催場所 ※1 ウェルピアかつしか ※2 たつみ憩い交流館 ※3 お花茶屋図書館他 ※4 テクノプラザかつしか

協働の仕組み

区

● 障害者施設課

- ・講習会の企画運営
- ・場所及びパソコン等の機器を提供
- ・広報による受講者の募集

● 生涯学習課・高齢者支援課

- ・場所の提供
- ・広報による受講者の募集

団体

● 特定非営利活動法人 ユニコムかつしか

- ・講習会の企画運営
- ・講師派遣の支援

1 障害者のためのパソコン教室

2 視覚障害者向けの指導は区内で唯一

3 マンツーマンでわかりやすく指導



ウェルピアかつしかでの
パソコン教室で
熱心に勉強する
受講生たち



薬物の危険性を子どもたちにクイズで知ってもらおう

クイズ □にしてみたいタブレット、あなたならどれを選びますか？

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

答え：⑤（ドラッグではないタブレット）



中学生のポスター

東京都薬物乱用防止推進葛飾地区協議会

若者に広がる薬物汚染 危険ドラッグの怖さを伝える



副会長 本宮 宏さん

危険ドラッグで、未来ある人生を失うことがないように考えてもらいたいですね



INTERVIEW

危険ドラッグに絡んだ事件や事故が社会問題になっていきます。東京都薬物乱用防止推進葛飾地区協議会では、区のイベントなどで、薬物乱用防止のキャンペーンや啓発活動に積極的に取り組んでいます。

協議会の委員は、青少年委員や民生委員、町会長など地域の有識者ら20人で、都知事の委嘱を受け活動しています。危険ドラッグや大麻などの薬物汚染は、将来を担う若者たちにも及び、深刻な状況です。平成27年度の葛飾区子どもまつりでは、「薬物に関するクイズ」を実施、薬物の怖さを伝えました。また、区内の小・中学生を対象に「薬物乱用防止教室」も開催しています。

中学生たちからは、「薬物乱用防止

INTERVIEW

本宮 宏さん

最近若者の間で広がっている危険ドラッグは、まるでキャンディのようなパッケージで、カラフルなんです。そこで、啓蒙活動として「葛飾区子どもまつり」で、いくつかの危険ドラッグの中に一つだけお菓子を混ぜ、お菓子当てる画像クイズをしたんです。なんと約2000人のほとんどがハズレでした。

危険ドラッグは、薬物という感覚のないまま、低年齢層にも広まるのではと危惧しています。

特に若い人たちには、未来ある人生を失うことがないように危険性を考えてもらいたいです。

ポスター・標語を募集し、入賞者は協議会主催の薬物乱用防止葛飾区民大会で表彰をしています。

このほか、地域の団体等から薬物についての講演を依頼された場合、委員たちが講師を務め、区民が安全に安心して暮らせる社会の実現へと力を尽くしています。

協働の仕組み

区

● 地域保健課

- ・協議会の事務局として活動のPR・支援
- ・協議会の広報
- ・ボランティア保険の加入
- ・場所の提供

団体

● 東京薬物乱用防止推進葛飾地区協議会

- ・子どもまつり、菖蒲まつりなどでの啓発活動
- ・薬物乱用防止教室講師(小・中学生)
- ・薬物についての講演活動
- ・薬物乱用防止ポスター・標語の募集(中学生)および表彰
- ・薬物乱用防止葛飾区民大会の開催

1 薬物乱用防止のキャンペーン・啓発活動を実施

2 クイズでわかりやすく薬物の怖さを伝える

3 中学生から薬物乱用防止ポスター・標語を募集



区の子どものまつりで危険ドラッグの怖さを訴える



葛飾区フリー活動栄養士会
栄養士の皆さん



野菜クイズは大人にも大人気



野菜クイズ
これな〜に?
ズッキーニ

葛飾区フリー活動栄養士会

楽しい! 人気イベントで
広がる“食育の輪”



会長 大野 久美子さん

活動はきつかけづくり
家庭につながる事が
大事です



INTERVIEW

INTERVIEW

大野 久美子さん



野菜クイズは、お子さん向けにつくったんですが、いざやってみたら結構大人たちも楽しんでくれて…思わぬ反響でとても嬉しいですよ。

今、朝食をとらない子どもたちが増えているようですが、ちゃんと食べられることを伝えていきます。今まで苦手だった野菜が食べられるようになった、という声を聞くと、この活動をやっていて本当に良かったと、やりがいを感じます。やはり、子どもたちが野菜など食への興味をもってくれることが大切で、活動がそのきっかけになり、家庭での食育につながる事が大事だと思っています。

興味を持ってもらうなど、親子で楽しみながら食育が学べます。

葛飾区フリー活動栄養士会は、子どもたちをはじめとする区民に、食に関するさまざまな知識や、食を選択する判断力を養ってもらうため、今後も趣向をこらしたイベントで食を通じた健康づくりの輪を広げていきます。

1 管理栄養士や栄養士が食育の大切さを伝える

2 クイズや人形劇で子どもも大人も楽しめる

3 区ホームページで簡単にできるレシピを公開する

協働の仕組み

区

- 健康づくり課
 - ・会員募集・研修の実施・活動拠点の提供
 - ・活動のPR・ホームページにレシピを掲載
- 生涯学習課
 - ・子ども食育クッキングの開催

団体

- 葛飾区フリー活動栄養士会
 - ・区主催のイベントへの参加
 - ・区広報紙へのレシピ提供
 - ・地域での食育活動
 - ▶イトーヨーカ堂亀有店にて、カルシウムに関するレシピの紹介と試食による食育活動の実施
 - ▶幼稚園での食育指導
 - ▶健康保険組合への食育教室の開催

事業者

- イトーヨーカ堂亀有店
 - ・活動場所の提供
- 葛飾元気野菜直売所
 - ・元気野菜レシピの配布
 - ・イベント実施時の食材提供
- 森永乳業東京工場
 - ・イベント実施時の食材提供



エプロンシアター(人形劇)は大人気!



かつしか健康食育フェアでクッキーづくりを楽しむ子どもたち



健康マージャンは頭や手・指の運動になり女性にも大人気です



フラダンス



合気道



小学校と連携した陸上教室



元気アップ体操

特定非営利活動法人 こやのエンジョイくらぶ

エンジョイ! スポーツ 世代を超えて元気なまちに



理事長 黒川 幹雄さん

ボランティア同然の指導者やスタッフのお蔭で活動が続けられています



INTERVIEW

NPO法人こやのエンジョイくらぶは、スポーツによる元気なまちづくりを実践し、文部科学省から「平成27年度生涯スポーツ優良団体」として表彰されました。南綾瀬やお花茶屋、堀切地区で活動し、会員は574人（平成27年現在）で、22種目33プログラムを年間1324回開催しています。参加者は2万5998人と、子どもから高齢者まで、地域住民のスポーツを通じたコミュニティ拠点として発展し続けています。

特にキッズチアダンスは、毎年かつしかスポーツフェスティバルでダンスを披露するなど、活躍しています。他に、合気道、親子体操教室、元気アップ体操などのスポーツプログラムや、文化プログラムとして健康マ

ジャンなどもあります。

また、会員以外の地域住民が参加できる地域貢献イベント「秋のスポーツフェスタ」「春の桜フェスタ」を開催するほか、7つの小学校で体育の授業に、オリンピック出場選手などトップアスリートなどを派遣する、地域に貢献する事業も行っています。

INTERVIEW

黒川 幹雄さん

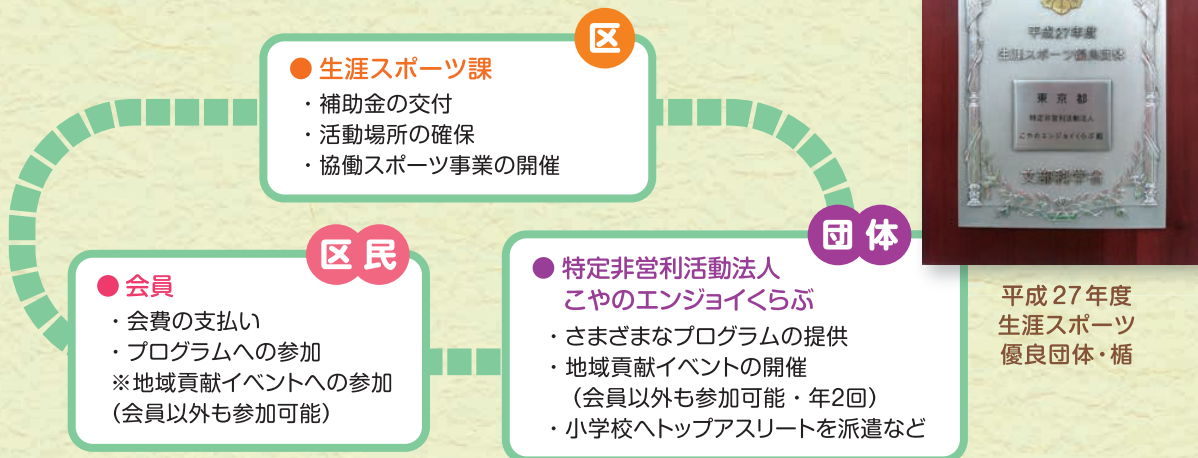


文部科学省の「平成27年度生涯スポーツ優良団体」で表彰されたんですよ。これからは、賞に恥じないようにもつとがんばります。

人気のスポーツプログラムは、気功や元気アップ体操、そして健康マージャンなどです。健康マージャンは、参加者の6割が女性で、口コミで高齢者に広がりました。頭の運動、手・指運動、マージャンも運動ですから（笑）。

最初の頃は暗中模索でしたが、区のバックアップや、ボランティア同然の指導者やスタッフのお蔭で、活動が続けられています。

協働の仕組み



1 平成27年度生涯スポーツ優良団体として表彰

2 地域に根付くスポーツ活動の担い手

3 キッズチアダンスはイベントや大会で活躍



キッズチアダンスは区内外のイベントで見事な演技を披露



バルーンアート



フラダンス



人気のシニアフォークダンス



健康体操



親子ヨガ教室

一般社団法人 オール水元スポーツクラブ

障害者もトランポリンで 地域をつなぐスポーツの輪



理事長 峰岸 伸一さん

高齢者の皆さん、健康への
関心が高いです。4〜5種目
参加される方もいますよ



INTERVIEW

一般社団法人オール水元スポーツクラブは、地域スポーツクラブとして住民の健康促進と交流の輪を広げる活動に精力的に取り組んでいます。法人化したのは平成25年で、設立当初は会員が190人程、平均年齢は60歳以上でしたが、現在の会員は400人程で、親子で参加するなど若い会員が増えたのが特長です。

トランポリンやフラダンス、バルーンアート、和太鼓などの23種目29プログラムがあり、年間910回開催しています。特にトランポリンは、子どもから高齢者まで人気で、第1回葛飾区トランポリン交流大会を主催。また、特別支援学級の生徒たちを対象に教室を開いています。

小学生たちの体力が落ちているこ

とから、親子の支援事業として、親子ヨガ教室やジャズダンス教室なども開催、家族で気軽にスポーツを楽しめると会員たちに好評です。また、4つの小学校と1つの中学校で体育の授業などにトップアスリートなどを派遣する、地域に貢献する事業を行っています。

INTERVIEW

峰岸 伸一さん



この地域の高齢者は健康への関心が高く、中には週に4〜5種目参加される会員さんもおられます。皆さん、とても元気です。それに、積極的にクラブを手伝ってくださる会員さんも多いです。資格を取得してデータの指導者として活躍中の80代や、子育て中のママも参加できるよう預かり保育をする元幼稚園教諭、特技を活かして水墨画や茶道などの教室を受け持つ方々とか。どのプログラムでも皆さんとても楽しそうに参加されていて、すごく張り合っています。

1 毎年、葛飾区トランポリン交流大会を開催

2 特別支援学級の生徒たちに教室を開いている

3 地域に根付くスポーツ活動の担い手

協働の仕組み

生涯スポーツ課
・補助金の交付
・活動場所の確保
・協働スポーツ事業の開催

区民
会員
・会費の支払い
・プログラムへの参加
※地域貢献イベントへの参加(会員以外も参加可能)

団体
一般社団法人
オール水元スポーツクラブ
・様々なプログラムの提供
・小・中学校へトップアスリートなどを派遣
・地域貢献イベントの開催(会員以外も参加可能・年2回)



トランポリンは特に盛んで親子や障害者も参加交流会も開いています



和太鼓で楽しくストレス発散



原作者の高橋陽一先生と
及川さん



かつしかフードフェスタに参加
葛飾を盛り上げます!



南葛SC

めざせ! Jリーグ夢の “翼スタジアム”でプレイ



南葛SC 代表理事長 及川 達也さん
<http://www.nankatsu-sc.com>

3部優勝で盛り上がっています
サポーターの皆さんたちの
期待に応えたいんです



INTERVIEW

南葛SCは、平成27年度に東京都
社会人リーグ3部で優勝、2部昇格を
果たしました。目標は2021年に
Jリーグへ昇格すること、3部優
勝の追い風に乗って、夢は膨らむば
かりです。

チームの前身は常盤中学校サッ
カー部OBが約35年前に創設した「常
盤クラブ」。平成25年に「南葛SC」に
改名、チーム名は漫画「キャプテン翼」
から取ったもので、原作者の高橋陽一
先生(葛飾在住・後援会長)の協力の
もと、ユニフォームも漫画とほぼ同
じデザインです。四つ木や立石周辺
にはキャプテン翼のキャラクター銅
像8体が設置され、応援ムードが高
まっています。

南葛SCでは、サッカーの試合以外

でも、子ども向けサッカースクールや、
地元イベントへの協力などで、活気あ
るまちづくりに貢献しています。

代表の及川達也さんは、3部優勝の
熱気と、盛り上がりを感じており、
「地域の応援を糧にチームが躍進する
ことがいちばんの地域貢献」と考えて
います。

INTERVIEW

及川 達也さん



昨年、3部で優勝しまして、今すご
く盛り上がっていますよ。当初は練習場
の確保さえ大変だったんですけどね。
キャプテン翼の高橋陽一先生には、
「南葛SC」のチーム名をいただき、す
ごく感謝しています。チームはどんど
ん強くなっています。監督には、元修
徳高校の向笠監督に就いてもらって
います。

Jリーグ入りしたときには、葛飾に
「翼スタジアム」を造ってもらいたい
んです。大勢のサポーターに来てもら
って、そこでプレイするのが夢です。
必ず実現させますよ。

協働の仕組み

団体

- 葛飾区サッカー連盟
 - ・サッカー関連事業に関する支援
 - ・サッカー関連事業の管理・監督・指導

団体

- 南葛SC
 - ・サッカーチームの育成
 - ・サッカースクールの開催
 - ・地域スポーツ活動の推進
 - ・地域イベントへの協力

スポーツ振興および地域活性化を図るための覚書の締結

区

- ・サッカー関連事業に関する支援
- ・協働スポーツ事業の開催
(「キャプテン翼カップかつしか」開催)



© 高橋陽一 / 集英社

1 東京都社会人リーグ
2部昇格

2 漫画「キャプテン翼」で
全国でも注目

3 サッカースクール開催と
地元イベントでの協力



夢のJ1へキックオフ!
南葛SCチーム



緑化推進協力員会の皆さん



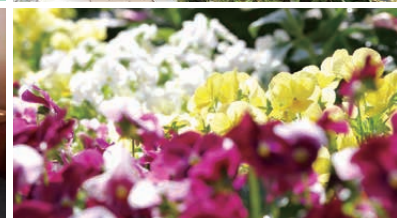
勉強会で花壇を視察しました



環境・緑化フェアでの園芸相談



好評の緑と花のおもてなし装飾



葛飾区緑化推進協力員会

花いっぱい! 緑化推進 けん引役が奮戦努力



会長 野瀬 高さん

協力員同士が親睦を深め
緑化推進に自由な意見を
出し合うことが大事です



INTERVIEW

葛飾区では、「緑の保護と育成に関する条例」を定めています。葛飾区緑化推進協力員会は、緑化を推進していく民間の協力者である緑化推進協力員が、平成4年に立ち上げました。会員は、専門家を招いた指導者向け講習などで、自らがスキルアップしながら活躍の場を広げています。近年では、区内で展開している「かつしか花いっぱい」のまちづくり運動で、関連団体のサポートやアドバイスをするなどけん引役として活動しています。また、区役所の緑と花のいいかいガーデンや、本庁舎2階正面玄関にあるプランターの維持管理も、会の事業の一つです。美しい花と緑のおもてなし事業として、来庁する区民やお客様に好評です。

京成立石駅南口・北口では緑化推進協力員のアドバイスで、地元商店会が京成立石駅に相談を持ちかけプランターを設置しました。緑化推進協力員会は、地域の花壇の手入れや園芸教室の開催、リーフレットを使った緑化啓発活動など、さまざまな活動に関わっています。

INTERVIEW

野瀬 高さん



緑化を進める際に「こつやりたい」と押しつけるんじゃないかってね、葛飾区や区民の皆さんと話し合って、一緒に進めたいと思っています。協力員会は、個人単位やブロックごとの活動が多いので、会員同士の交流が少なく、他の地域のことは意外と知らなかったりするのが悩みでした。だから「葛飾の老木・古木をめぐる」「葛飾のユーク花壇を見て歩く」をテーマに見学会を企画したり、協力員同士が親睦を深める機会を作りました。自由に意見を出し合ったりする場を設けることが大事ですからね。

協働の仕組み

区

● 環境課

- ・ 緑化推進協力員の委嘱
- ・ 活動の支援

区民

● 葛飾区緑化推進協力員会

- ・ 協力員全体事業の企画運営
- ・ 研修会、講習会、緑化普及啓発活動等各種事業の実施
- ・ 協力員相互の情報交換、親睦を図る

● 葛飾区緑化推進協力員

- ・ 自主的実践活動
(緑化に関する普及、啓発、推進、保全)
- ・ 区の事業への参加、協力
- ・ 区への通報及び意見の提出

1 花いっぱいのまちづくりを推進する

2 園芸相談や病虫害相談に対応する

3 園芸教室や講習会を行っている



園芸の達人へー「指導者向け花壇管理講習会」



区役所内の緑と花のいいガーデンは見る人を楽しませています



出張ワークショップは人気です



小学校4年生が対象の出前講座
生物について遊びながら
楽しく学んでいます



葛飾区生物多様性推進協議会 かつしか生きものトランプ部会

生きものトランプで出前講座 生物多様性を楽しく学ぶ



部会長 中島 幸一さん

かつしか生きものトランプで
葛飾の生物をもっと知って
欲しいですね

INTERVIEW

生物多様性について、楽しく遊び、学んでほしいと、区と葛飾区生物多様性推進協議会は部会活動の一環として、かつしか生きものトランプを作りました。

トランプの図柄は、昭和11年に水元公園で発見されたオオモノサシトンボや、都の天然記念物のオニバスなどをはじめ、在来種や絶滅危惧種、外来種などです。

カワセミのカードには星が3つ、フジバカマは星が4つなど、星印の多さで希少性の高さがわかるようになっており、トランプ遊びを通じて生物多様性が楽しく学べます。

トランプは、平成25年に作成し区内の小中学校に無償配布、家庭などからも問い合わせが多く、実費の300円で販売したところ完売、増刷しました。かつしか生きものトランプ部会では、区と連携し、区内の小中学校に年間5〜6回、トランプの遊び方などを児童に教える出前講座を行っています。他に、区のイベントで、かつしか生きものトランプを使った出張ワークショップなども行っています。

INTERVIEW

中島 幸一さん

私、新宿(にいじゅく)生まれの、水元公園育ちです(笑)。子どもの頃から昆虫が好きで、今でもほぼ毎週、水元公園で虫を観察しています。小学校4年生を対象に出前講座を行っています。絶滅危惧種などについて、突っ込んだ質問をされます。虫が苦手だった女の子が、生きものを勉強して、苦手でなくなったりすると嬉しくなりますね。作って良かったな、と思っています。

葛飾は、河川や森などがあり生きものが生息しやすい環境です。生きものトランプで葛飾の生物をもっと知って欲しいですね。

協働の仕組み

区

● 環境課

- ・協議会の事務局
- ・活動のPR
- ・かつしか生きものトランプの作成・販売

団体

● 葛飾区生物多様性推進協議会 (かつしか生きものトランプ部会)

- ・かつしか生きものトランプの作成
- ・小学校への出前講座の実施
- ・イベントでの出張ワークショップの開催

- 1 葛飾の生物多様性がゲーム感覚でわかる
- 2 出前講座やイベントで生物多様性を普及・啓発
- 3 家庭でもできる生きものトランプ遊び

分類
特徴・主な食べ物や体長など

主な生育生息環境
区内で見られる珍しさの度合い

トランプは
会員が撮った写真が
たくさん
使用されている

【カワセミ】
食 魚 17cm
【キー】「チー」

【フジバカマ】
食 花 100-150cm

【オニバス】
食 葉 30-150cm(翼長)

【オオモノサシトンボ】
食 葉 40mm 6-9月

かつしか
生きものトランプ
～自然とあそぼう～



東四つ木地区センターまつりで



地図を作った石戸さん



葛飾区民フォーラムで発表の様子



木根川史料館に展示された資料類

町の文化と歴史をひもとく会

町の今昔を知り、伝える 集めた写真を有効活用



左から 幹事 澤村 英仁さん・代表 高橋 明彦さん・幹事 石戸 暉久さん

老人ホームに貸し出す昔の写真は、お年寄りの脳を活性化していきなす



INTERVIEW

まちの変遷とともに住人も入れ替わります。東四つ木地域を中心に活動する「町の文化と歴史をひもとく会」は、お年寄りから昔のまちの様子を聴いたり、当時の写真や道具などを収集しています。調査の成果は4冊の本にまとめ、自費出版しています。木根川小学校の空き教室を使った「木根川史料館」で、収集した資料の展示・保管を行っています。展示された数々の写真類は、子どもたちにとっても身近にまちの歴史がわかる興味深い資料です。またこは、活動の本拠地でもあります。活動は多くの人に知られ、「うちにもあるよ」と資料を提供されたり、昔話を聴くために知り合ったお年寄りから友人を紹介されたりして、現在

では木根川から四つ木、渋江、立石まで調査範囲は拡大しました。集まった資料は、葛飾区の貴重な歴史的資料として、広報活動等で活用されることも多く、また小学校の教材として編さんされたり、老人ホームなどに貸し出し展示されたり、有効に活用されています。

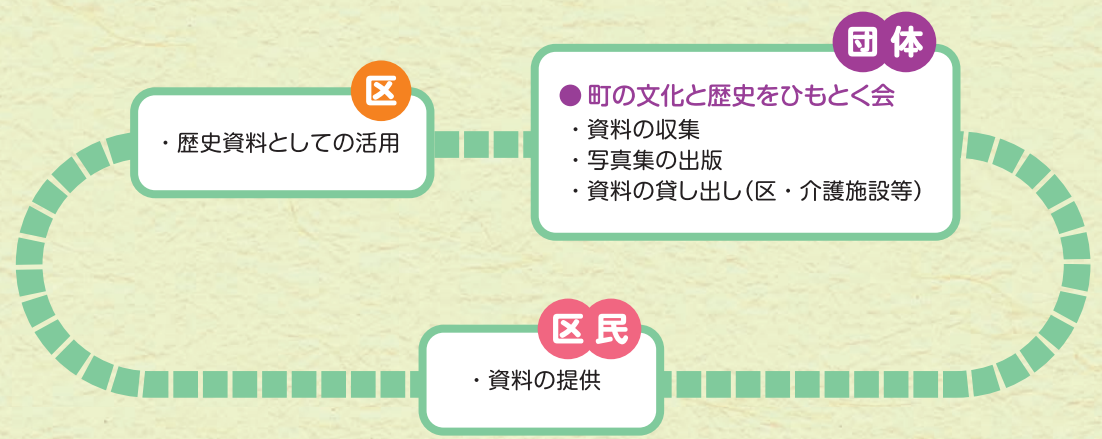
INTERVIEW

澤村 英仁さん・高橋 明彦さん・石戸 暉久さん



昔の写真って、捨ててしまつう人が多くて。その収集ですから、最初の頃は変な人に思われちゃって(笑)。でも、でき上がった本をお持ちすると、また話が續くんです。老人ホームなどからの依頼で、写真や資料をお貸しするんですが、お年寄りには昔の写真を見ると、いろいろ思い出して話が盛り上がりると好評です。脳の活性にいいそうです。自分たちが育つたまちですから貢献できて嬉しいですね。まちの歴史をひもとく作業は楽しいです。時には居酒屋で、その後、誰かの家で、と朝まで話している時もあるんですよ(笑)。

協働の仕組み



1 集めた写真類で4冊の本を自費出版

2 消えて無くなる貴重な「歴史」を収集

3 昔話で広がる地域住民の輪



■ 渋江商店街(東四つ木)
昔の写真(左側)では、両側に商店がたくさん広がっています。手前左側は銭湯「四ツ木浴場」です。現在(右)では、銭湯も商店も無くなり、住宅街に変わっています。



出版した
町の歴史本4冊は
大手新聞でも
紹介され
売り切れ続出



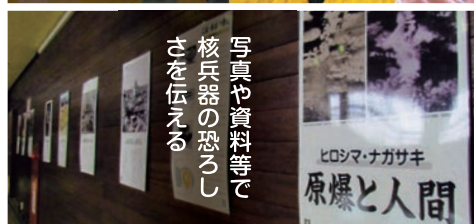
非核平和
祈念のつどい



講演終了後
子どもたちの
握手と拍手が…



葛友会の皆さん



写真や資料等で
核兵器の恐ろし
さを伝える



平和への祈りをこめ
子どもたちと一緒に千羽鶴を折る

葛飾原爆被爆者の会（葛友会）

今だから語る！ 被爆体験を子どもたちに



左から 副会長 中西 俊雄さん・事務局長 福瀬 芳子さん

原爆への関心が薄れている
ように…でも、もっと知りたい
子どもたちもいます



INTERVIEW

葛友会は、広島、長崎で被爆した葛飾区在住者の組織で、核兵器のない平和な世界実現のための啓発活動を行っています。

福瀬芳子さんは幼少期に、中西俊雄さんは生まれたばかりの時に、被爆しました。そうした被爆体験を子どもたちに知ってもらいたいと、葛友会は、区内の小中学校が主催する講話に講師として参加しています。

また、「非核平和祈念のつどい」や写真・資料等の展示を、区と共催しています。

都内在住の被爆者は現在、約600名が葛友会に所属しています。原爆投下から70年が過ぎ、被爆者の高齢化が進んで、語り継ぐ人々がめっきり減った今、葛友会の活動は貴重です。

葛飾区は「非核平和都市」を宣言しており、講話会や写真展など、葛友会の活動を支えています。また、講話会の様子を収録したビデオ「平和よ高く舞えを」、小中学校に向け貸し出した、図書館では一般向けに貸し出し、被爆体験を後世に伝えています。

INTERVIEW

中西 俊雄さん・福瀬 芳子さん



区内の小中学校での講話会で、幼少期の体験等、原爆について話します。きちんと理解されているか、正直不安な時もありますが、講話会がきっかけで、グループでもっと学びたい、と連絡してくる児童生徒もいます。とても嬉しいし、いくらでも協力しますよ（福瀬さん）。

写真展に来てくれる人たちの中には、ショックを受けて黙り込んでしまいう人も多いですね。機会がなく知らなかった人にも、核兵器の怖さや悲惨さを感じて、理解してもらいたいです。戦争反対・核兵器廃絶が我々の願いですから（中西さん）。

協働の仕組み

区

● 総務課

- ・被爆体験講話会の記録映像撮影
- ・講話会ビデオの貸し出し
- ・イベントの共催
- ・会場の確保

団体

● 葛友会

- ・被爆体験講話会での講演
- ・原爆写真ポスター、資料展の共催
- ・非核平和祈念のつどいの共催
- ・原爆と人間展の開催

1 被爆体験談を子どもたちに話す

2 非核平和祈念のつどい、写真・資料展の共催

3 核兵器のない平和な世界の実現へ



原爆の怖さを語り継いでもらいたい
その思いで子どもたちに被爆体験を語る



講演をする
鈴木康雄会長



区内の名所をめぐり
歴史と文化の再発見(写真は西光寺)



▲金町湯▲



葛飾区浴場組合連合会「銭湯ウォーク」

再発見! 銭湯とまちの魅力
歩いて浴びて“いい湯だな”



葛飾区浴場組合連合会 会長 丸山 勝さん

銭湯ウォークは続けていきたいですね。我々も銭湯の良さを もっと伝えたいですから



INTERVIEW

葛飾区浴場組合は、年3回、まち歩きと銭湯の入浴がセットになった「銭湯ウォーク」というユニークな活動をしています。参加者にまちの歴史的・文化的な魅力を発見してもらい、銭湯の良さを再認識してもらうのが目的です。

参加者は、高齢者から家族連れまで幅広く、1回に15人〜30人、人気のコースは柴又や新小岩です。参加費は、まち歩きと銭湯入浴料金、当日の保険料も込みで500円です。浴場組合では、まち歩きの終点となる銭湯の選定や、開店前の入浴時間の調整、当日の受付業務などを行っています。まち歩きで疲れた体を一番風呂で癒すのは格別で、参加者たちに好評です。

葛飾区内にある銭湯は、昭和50年には148浴場だったのが、現在は35浴場と減少しています。一方で、銭湯好きな高齢者は多く、現存する銭湯は地域コミュニティの核となっています。葛飾区浴場組合では、銭湯文化の灯を消すな!と、今後も銭湯ウォークの開催に力を入れ、継続していく意向です。

丸山 勝さん

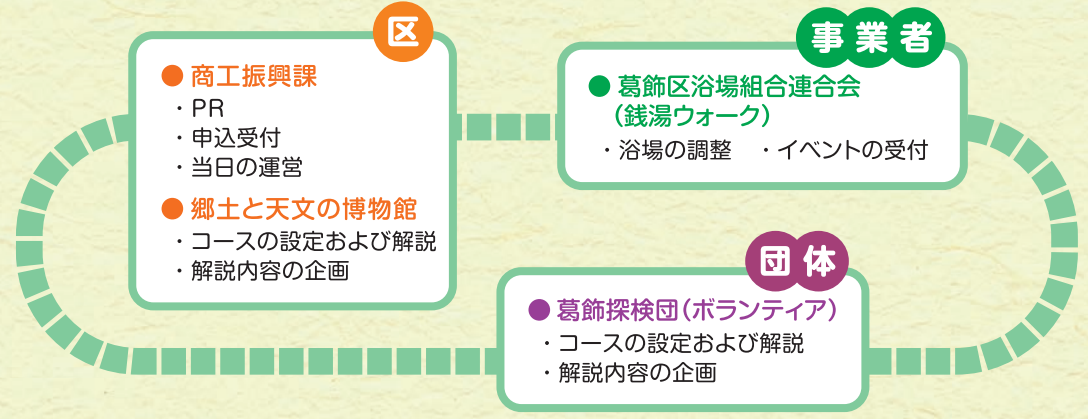


INTERVIEW

銭湯ウォークは、銭湯を知ってもらい、銭湯の良さを再認識してもらういい機会だと考えています。ゆず湯やラベンダー湯などの季節湯も行ってますので、たくさんの方に銭湯を利用してもらいたいですね。

葛飾の銭湯は、だんだん減っちゃいました。実は高齢者の方に助けられています。高齢者のグループができた。床を掃除してくれたり…。自分たちの銭湯として利用してくれているんですよ。銭湯ウォークは、今後も続けていきたいですね。参加した皆さんに喜んでもらえるし、我々ももっと銭湯の良さを伝えたいですから。

協働の仕組み



1 日本独自の銭湯文化をまち歩きとセットで伝える

2 お風呂とまち歩きで人のつながる場を提供

3 銭湯文化の灯を消すなど若い人にもアピール



歩いた後は一番風呂で「コロモカランダモ」ぼっかぽか



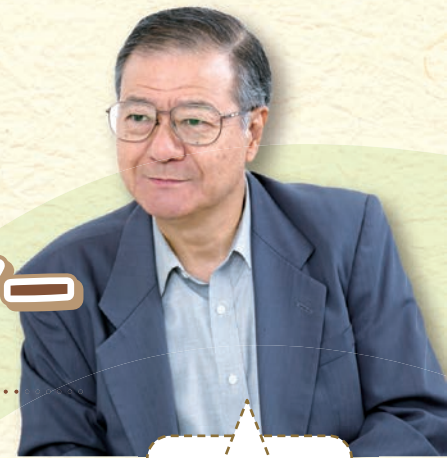
高砂橋で中川と新中川の解説を聞く皆さん



新小岩・於玉(おたま)稲荷神社の社殿に向かう階段を登る皆さん

葛飾のまち歩きを創る会

シニアが元気に集う！ 人気のまち歩きツアー



会長 小林 賢二さん

長老メンバーが多く、まちの知識が豊富で、皆さんに楽しんでもらっています



INTERVIEW

葛飾のまちの魅力伝える一をコンセプトに、葛飾のまち歩きを創る会は、さまざまなコースのまち歩きツアーを企画・運営しています。メンバーは、85歳の男性を筆頭に大半が60歳以上の会員です。ツアー参加者も80%以上が高齢者でリピーターが多く、シニア世代の社会参加と地域での支え合いに貢献した活動を行っています。

まち歩きツアーは、年4〜5回開催し参加者への告知は広報かつしかなどで行います。1回の参加者は50人程で、参加者を終着点まで無事に送り届けることを目標にしています。最後まで歩き通した参加者には「完歩証」を発行しています。

人気のコースは、満開の桜並木の散策や、平成25年に開設した東京理科大学葛飾キャンパスへのツアーなど。理科大ツアーは好評につき2回実施し、合計100人が参加しました。

まち歩きコーディネーター養成講座を独自に開催したり、まち歩きガイドの研修なども行っています。まち歩きツアーは、高齢者たちを元気にさせ、介護予防にもなっています。

INTERVIEW

小林 賢二さん



まち歩きツアーは、事故が無いように参加者をサポートします。だからツアー当日はもちろん、企画から下見、資料づくりなどの準備を何カ月も前からしっかりとやります。トイレ休憩の場所を調べて地図を作ったら、好評でしたよ。

参加者の中には、毎回配っている「完歩証」を集めているリピーターもいて、嬉しいですね。皆さん楽しみにしています。

うちは長老メンバーも多く、彼らが持っているまちの知識は地域の貴重な財産。形にして残すことも考えています。

協働の仕組み



● 高齢者支援課

- ・社会参加セミナーの開催
- ・会場の確保
- ・養成講座講師の紹介
- ・広報かつしかでの周知



● 葛飾のまち歩きを創る会

- ・まち歩きツアーの企画・実施(年4〜5回)
- ・まち歩きコーディネーター養成講座の実施

1 豊富なコースが楽しめる

2 シニア世代が支え合いで元気に

3 まちの魅力を再発見



桜の季節—
まち歩きを楽しむ
シニアの皆さん



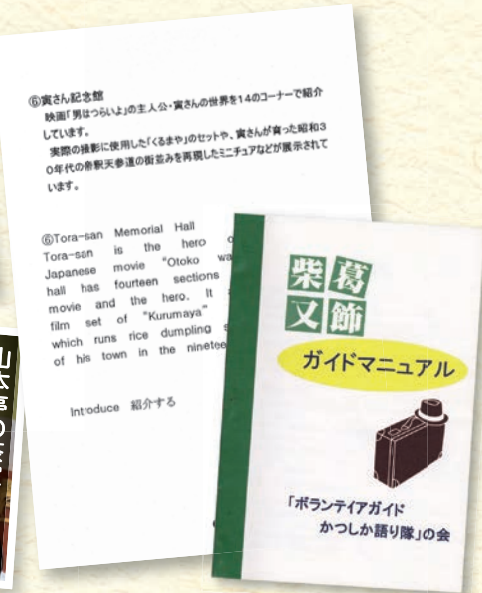
子どもたちに帝釈天を案内



2日間
約2万1000人が訪れた
「寅さんサミット」(平成27年)



山本亭の茶室で茶道の研修をしました



⑤寅さん記念館
映画「男はつらいよ」の主人公・寅さんの世界を14のコーナーで紹介しています。
実際の撮影に使用した「くるまや」のセットや、寅さんが買った昭和30年代の帝釈天参道の看板などを再現したミニチュアなどが展示されています。

⑥Tora-san Memorial Hall
Tora-san is the hero of a Japanese movie "Otoko wa Tora-san". The hall has fourteen sections of his town in the nineties.

開いて、ガイドの勉強をはじめガイド
当番などを決めていきます。
柴又には全国から観光客が訪れま
すが、海外からも多く、平成16年から
始まった観光ガイドは、平成27年春
に、ガイドした総数5万人を達成しま
した。

葛飾区シニア観光「かつしか語り隊」の会 ボランティアガイド

寅さんのまちを“語り隊” 一期一会の柴又人情ガイド



会長 風見 栄一さん

お客さんと楽しい時間を
共有できたときは
やりがいを感じますね



INTERVIEW

葛飾の素晴らしさを伝えます。私
たち一人ひとりが葛飾・柴又の顔で
すーかつしか語り隊の会は、そんな
モットーを掲げ観光ボランティアガ
イドの活動をしています。

会員たちは、毎週土・日曜日の午前
10時から先着順で受け付け、京成電鉄
柴又駅頭に立ち、ガイドを希望する個
人の観光客などに、無料で柴又界隈を
案内しています。団体客の場合は、あ
らかじめ電話で予約を受け付け、ガイ
ドしています(予約の場合は有料)。
案内する場所は、主に、駅、参道から
帝釈天や寅さん記念館、矢切の渡し、
山本亭などですが、リクエストにに応じ
て柴又界隈を丁寧に案内しています。
かつしか語り隊の会では、現在50人
が活動しており、毎月1回定例会を

INTERVIEW

風見 栄一さん



活動は、まさに一期一会ですね。出
会いに始まって、まちの素晴らしい場
所と一緒に散策して、楽しい時間を共
有できた時は、後で感謝の手紙をもら
ったり、一緒に撮った写真を送ってくれ
たりと。ガイドをしたきっかけで、お
つきあいが始まることもあります。や
りがいを感じますね。
柴又には、アメリカの庭園誌で紹介
された、隠れ家的な存在の「山本亭の
庭園」や、帝釈天の「濠深園(すいけい
えん)」など、誇れる名所がたくさん
あります。もっと多くの人に来てもら
いたいし、我々もまちの魅力をたく
さん伝えたいですね。

協働の仕組み

区

- 高齢者支援課
 - ・養成講座講師の紹介
 - ・会場の確保
 - ・広報かつしかでの周知

団体

- 葛飾区シニア観光ボランティアガイド「かつしか語り隊」の会
 - ・柴又界隈の観光案内(土、日曜日)
 - ・シニア観光ボランティア養成講座の実施

1 総勢50人のボランティアで
観光客をガイド

2 ガイドした総数
5万人を達成

3 柴又の“顔”を自認し
認知度アップに貢献



柴又駅などから
観光案内スタート
外国人のお客様も
ご利用されています



農業応援サポーター

集まれ! 農業応援サポーター 農家の人手不足を解消



左から 渡辺 泰雄さん・前田 芳幸さん・秋林 幸雄さん

多くの農家と知り合いに
なったので、サポーターと
農家をつなぎます



INTERVIEW

住宅街の一角にある畑では、農業応援サポーターとして研修中の皆さんが、ニンジンや大根の収穫に精を出しています。高齢化による農家の人手不足を補い、新たな農業の担い手の確保を目的に、平成25年から始まった農業応援サポーター制度。葛飾区では現在、32名が登録し、農家のお手伝いをしています。

農業応援サポーターになるには、月1回、全8回の講義と、農地での週1回の実習が必要で、千葉大学園芸学部教授、JA東京スマイル葛飾営農研究会、東京都農業指導員が講師として指導。千葉大学園芸学部の学生が実習をサポートします。

実習では、葛飾の特産である小松菜をはじめ、ネギ、ブロッコリー、サツ

マイモづくりなどが楽しく学べます。その後、農業応援サポーターとして登録され、農家の要請に応じ農業ボランティアとして活動します。

都市農業は、農地の減少から保全へと、平成27年の法改正で転換期を迎えています。葛飾の農業活性に向け、農業応援サポーターの活躍が期待されます。

INTERVIEW

渡辺 泰雄さん・前田 芳幸さん・秋林 幸雄さん

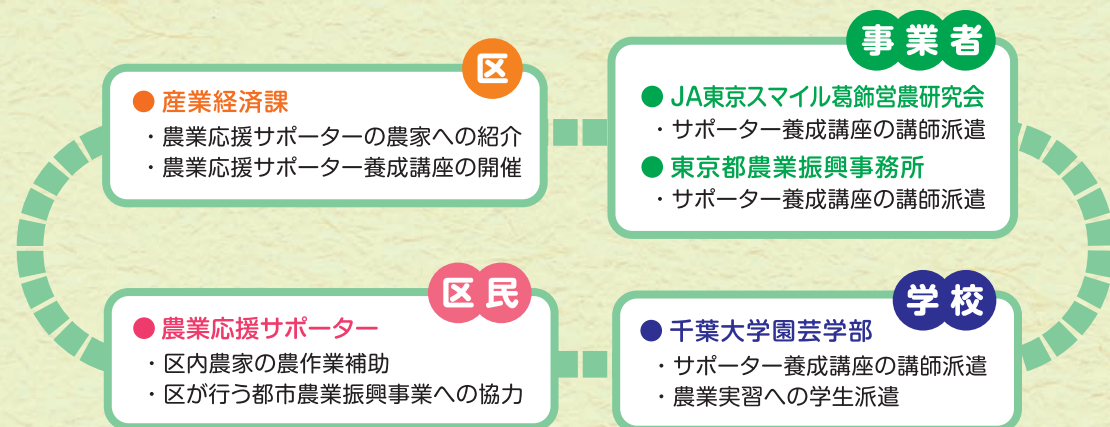


農業応援サポーターになりたい人たちが、千葉大学園芸学部の学生たちに教わって、実習をしています。採れた野菜類は、近所の幼稚園などにあげています。(秋林さん)

研修後、農家のお手伝いをしますが、農家はそれぞれやり方が違うし、「商品」をつくるので慣れるまでは大変ですが、皆さん頑張ってくれると思います。(渡辺さん)

東京で畑が残っている景観を残していければ、と活動を始めました。多くの農家とお話しができるようになったので、サポーターと農家をつなぐ役割ができたと思います。(前田さん)

協働の仕組み



1 野菜づくりが楽しく学べる

2 産学連携で発進! 農業応援サポーター制度

3 農業活性のサポートを担う





JA東京スマイル葛飾直売部会・消費者団体連合会

行列ができる“元気野菜” 即売会は売り切れ続出!



消費者団体連合会 会長 谷茂岡 正子さん
JA東京スマイル葛飾直売部会 会長 清水 克幸さん

お年寄りのために出張販売や
宅配等もできたらいいですね

INTERVIEW

「かつしか元気野菜PR事業」は、地産地消の推進を目的にJA東京スマイル葛飾直売部会が主催し、消費者団体連合会が協力しています。

即売会は、葛飾区役所(夏3回、冬2回実施)の他、堀切地場産業展、南綾瀬地区センター祭りなどで開催されています。開始前から行列ができ、30〜40分後には売切れてしまうほどの盛況ぶりです。朝採りの新鮮な野菜を買えることあって、今やすっかり定着しました。販売するのは、消費者団体連合会の皆さんです。「消費者自らが販売することで、安心して買ってもらえますからね」(谷茂岡さん)

消費者団体連合会では、JAと区が共催する野菜品評会の審査員もしています。

かつて、葛飾産の野菜は市場出荷が中心でしたが、平成11年に柴又の共同直売所ができたのをはじめ、個人直売所や販売店を増やすなど直売システムを推進しています。JA東京スマイル直売部会では、近くに直売所がないお年寄り等のためにも、今後さらに直売所を増やすことを検討しています。

INTERVIEW

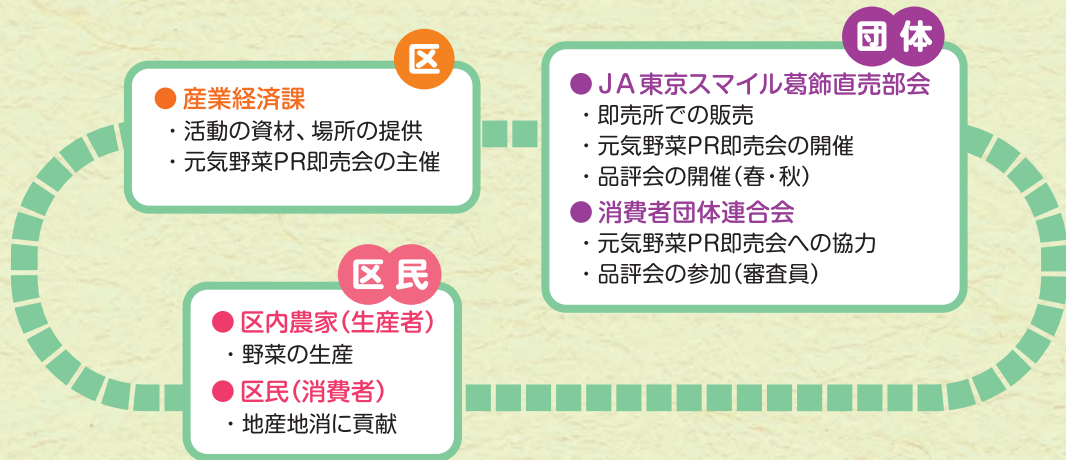
谷茂岡 正子さん・清水 克幸さん

即売会は大人気です。朝採りの野菜だから、新鮮で美味しいし、日持ちもいいんです。(谷茂岡さん)

直売所には多い時で、200人以上来てくれます。夏野菜では枝豆やトウモロコシ、冬野菜では大根や泥ネギなどが人気です。そして葛飾はやっぱり小松菜ですね。江戸野菜を復活させて、「寺島なす」を作りました。とても好評でしたよ。(清水さん)

調理法を説明してあげると売れ行きが違います。お年寄りなどのために、出張販売や宅配等もできたらいいですね。(谷茂岡さん)
そうですね、検討します。(清水さん)

協働の仕組み



1 即売会で
地産地消を推進

2 消費者が自ら
販売するので安心

3 区内で
直売のシステムを推進



即売会は
区内の農家が
生産した野菜が
ずらりと並び大人気

問い合わせ

<産業経済課> 直通電話：03-3838-5554



ほりきりん 堀切地区まちづくり推進協議会
堀切商店連合会

ゆるキャラ ほりきりん ただいま人気上昇中!



堀切かつしか菖蒲まつり運営協議会 広報部長 小高 定夫さん

ほりきりんは
お年寄りにも大人気で
これは想定外でした(笑)



INTERVIEW

人気者のゆるキャラ・ほりきりんは、堀切地区の小学生が書いた絵をもとに、平成23年6月、まちおこしのシンボルとして誕生しました。

ほりきりんは、堀切地区の8つの自治会と6つの商店会で組織する堀切地区まちづくり推進協議会活性化部会により、まちおこしのシンボルとして発案され、デビューしました。

その後、平成25年に着ぐるみほりきりんが誕生し、菖蒲まつりや大風揚げ大会など、堀切地区のイベントに登場。子どもたちをはじめ、お年寄りの握手攻めにあったり、一緒に写真を撮ったり、会場のムードを和ませ、すっかり人気者になっています。

ほりきりんは、葛飾区の職員募集パンフレットに使用されるなど、今

やひっぱりだこです。

また、非公認ながら葛飾区のご当地キャラクターとして、区外のイベントにも参加しており、地元堀切地区だけでなく、葛飾区をPRする活動を行っています。

ほりきりんは、子どもたちだけではなく、お年寄りにも大変な人気で、これは想定外でした(笑)。ある老人ホームからは、着ぐるみだけ貸して欲しい、というオーダーがありました。

ほりきりんがイベントなどに登場すると、人も集まるし笑顔が広がります。まちの活性化に一役も二役も買っていると自負していますよ。

少しでも長く活躍して欲しいんです。時間があると、ほりきりんの汚れをクリーニングで取ったりしています。可愛いですがメンテナンスも結構大変なんです。



団体

- 堀切地区まちづくり推進協議会
 - ・ほりきりん(マスコットキャラクター)の作成
 - ・ほりきりんグッズの作成
- 堀切商店連合会
 - ・地域イベントへの参加(着ぐるみ)

区

- 街づくり推進課
 - ・協議会の事務局

協働の仕組み

1 まちのマスコットキャラクターとして活性化に貢献

2 葛飾区のPRキャラクターとして活躍

3 人を和ませるゆるキャラとして認知度が高い



ほりきりんは
今や葛飾を
PRする
ゆるキャラです



必殺技が爆裂

ヒーローショーは子どもたちに大人気!



ゼロングプロモーション

必殺!ゼロングツイスター ヒーローがまちを元気に



ゼロングプロモーション 設楽 安男さん
<http://zerong.jp>

ヒーローには誰でもなれる
闘いの痛みを感じる
子どもに...



INTERVIEW

ご当地ヒーローの活躍で葛飾を盛り上げたいと、自主的な活動をしているのがゼロングプロモーションです。コブラツイストやブレンバスターなど、本格的なプロレス技を使う迫力あるショーは、子どもから大人まで幅広い人気です。

悪の軍団デスバルから区民を守るために闘う仮面の守護者「ゼロング」。ショーのシナリオからコスチュームデザイン、演出まで手掛けているのが設楽安男さん。実はマチュアプロレスをしていましたが披露する場が少なく、もっとプロレスを広めたいと思いついたのがヒーローショーでした。

ショーとはいえ本気でぶつかりあう姿を通して「痛み」を感じ、子ども

INTERVIEW

設楽 安男さん



アマチュアプロレス仕込みなので、技は本格的なんです。見学してくれる家族連れのお父さんたちがプロレス世代で、楽しんでもらっています。

ヒーローショーを通じて、「ヒーローには誰でもなれるんだ」ということを伝えていきたいですね。そして、まちを活性化できたらと思います。

例えば、ヒーローとグルメのコラボレーションで、「ゼロングカレー」とか「ゼロングラーメン」を作るのも面白いと思います。

葛飾をヒーローのまちにしたいですね。

たちに暴力やいじめについて考えるきっかけになればと設楽さんは語ります。

大人気のゼロングショー、年間50〜60回もの出演依頼があるそうで、平成27年には「葛飾協働まちづくり表彰」を受賞しています。



協働の仕組み

行政

・活動場所の提供

団体

- ゼロングプロモーション
- ・観覧無料のショーの実施 (奥戸総合スポーツセンターエイトホール)
- ・ヒーローショーの企画・制作・運営
- ・ゼロンググッズの企画・製作・販売
- ・各種イベントへのゼロングの派遣 等

区民

・区内各種イベントへの出演依頼

1 ゼロングと悪の軍団の闘いが圧巻!

2 闘いを通じて子どもたちの情操教育に

3 年間約50回、各種イベントに引っ張りだこ



悪の軍団をやっつけろ!





亀有パフォーマンスパーク

パフォーマーが集結! 亀有を芸人たちのまちに



代表 鳥山 郁さん ホームページ: <http://kpp-s.net>
YouTubeチャンネル: <https://www.youtube.com/user/KpptvChannelA>

パフォーマンスを、もっと増やしてほしいという声も...
やりがいを感じています



INTERVIEW

毎月第1土・日曜日、亀有駅前や周辺の商店街から、人々の歓声や笑い声、歌声が響きます。プロアマ問わずさまざまなジャンルのパフォーマーが集い腕を披露する「亀有パフォーマンスパーク」が開催されています。アクロバティックな大道芸やミュージシャン、マジック、和太鼓、阿波踊り等々。きっかけは平成21年に亀有地区商店街協議会が開催した「亀有大道芸まつり」。イベント後も、パフォーマンスでまちを活性化させようと、代表の鳥山郁さんが、活動を始めました。「亀有パフォーマンスパーク」では、商店街の意向をくんでルールを作り、必要に応じて公用地の使用許可を取得したり、地域とパフォーマンスのトラブルが無いようにしています。

パフォーマンスはライセンス制で、趣旨に賛同する人に参加してもらい、活動の様子はホームページやツイッターなどで配信しています。芸を披露する機会が少ないパフォーマーには活躍の場を、地域にはパフォーマンスを楽しむ人をまちに集めるにぎわいを提供しています。

INTERVIEW

鳥山 郁さん



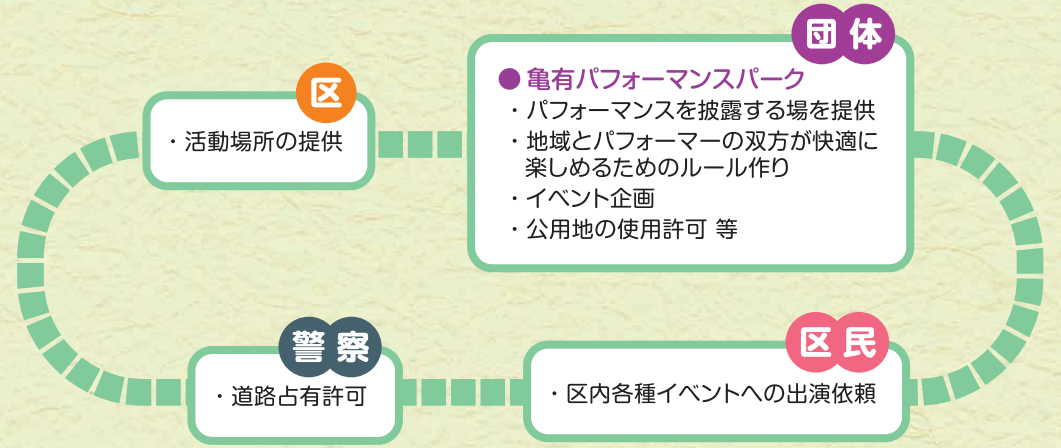
街角でパフォーマンスをしたい人に、商店会などの意向を聞いて規約をつくり、場所を提供しています。パフォーマンスの回数を、もっと増やして欲しい、という声もあり、やりがいを感じています。昔の亀有は、浅草で芸を披露する芸人たちがたくさん住んでいました。映画とか興業でも栄えていたし、その復活をめざして、まちとパフォーマンスが、もっと融合できれば、と思います。活動は映像で記録し、ネットで配信しています。まちからパフォーマンスが無くならないよう頑張ります。

1 パフォーマーたちに
まちのルールを徹底

2 まちの活性に
パフォーマンスの力を

3 活動記録・商店街情報・パフォーマー情報などを YouTube チャンネルで配信

協働の仕組み



大きな音が出せる外の会場は少ない
亀有在住の和太鼓グループ彩も
ここから有名になった



発信力を豊かにするためのゆるキャラについて学ぶ
「イメージキャラクターを作る交流会」



「わがまち楽習会 戦争を語り継ぐ」講座



戦跡高射砲陣地を視察

かつしか市民活動ネットワーク

ユニーク!市民団体が連携 新たな地域貢献を生む!



会長 飯田 充さん

<http://katsushika-npo-network.jimdo.com/>

「わがまち楽習会 戦争を語り
継ぐ講座」を開きました



INTERVIEW

かつしか市民活動ネットワークは、葛飾区市民活動支援センター(平成27年に立石地区センター別館と改称)を拠点に市民活動をしていた23の団体と10名の個人会員が集まり、平成27年に結成されました。異なる活動目的の市民団体が連携することで、地域に貢献する新たな活動を生み出そうというのが結成の目的です。

地域では今、認知症家族の介護など家庭の問題を始め、さまざまな課題を抱えています。

かつしか市民活動ネットワークでは、会員が培った知識やノウハウのコラボレーション(連携)で、「介護で支える町づくり交流会」や、ゆるキャラについて学ぶ「イメージキャラクターを作る交流会」などに取り組んでいます。

きました。また、葛飾区市民活動マップ「みんなで街づくり」を作成し、区内の各種市民活動を紹介しています。

今後も、身近な課題を共に考え、ジャンルにとらわれない柔軟な発想で、課題解決に向けた活動を意欲的に行っていく方針です。

INTERVIEW

飯田 充さん



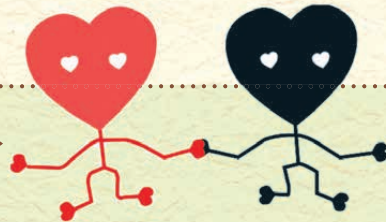
会員同士で「アイデアプロセス」という企画をやりましてね、自分のアイデアを出し合って対決するんです。勝敗は決めませんが、とても盛り上がりましたよ。

うちは会員がそれぞれ違う市民活動をされていて、得意分野も違います。だからこそ一緒にやれば地域の役に立つ活動がいろいろできると思うんです。

今年度実現したのは「介護で支える町づくり交流会」、そして教育委員会や生涯学習課と連携して「わがまち楽習会 戦争を語り継ぐ講座」とか。今後、も手の届かないところまで、いこうと思っています。

協働の仕組み

コラボかつしかまつりを
盛り上げるハートちゃん



区

- 地域振興課
 - ・ コラボかつしかまつりの後援、開催場所の提供
- 生涯学習課
 - ・ わがまち楽習会の開催

団体

- かつしか市民活動ネットワーク
 - ・ コラボかつしかまつりに実行委員会として参加
 - ・ 交流会事業の開催
 - ・ 講座事業の開催
 - ・ 市民活動発表会の実施
 - ・ 市民活動マップの作成 など

1 市民・NPO・企業・行政等の協働によるまちづくり

2 地域の課題解決策を提案・実行

3 区民に役立つ窓口としての役割



葛飾グルメで知り合う
交流会は大好評



「コラボかつしかまつり」には
地域の人たちが
大勢集まりました



250点もの資料が
展示されている



かまくら
郷土資料館



まんだら出前寄席はいつも大人気



花いっぱい運動も
活発



葛飾区観光協会鎌倉支部

我がまちは、住んで楽し!
娯楽を生む人、集う人



支部長 竹本 一夫さん

地域を内から盛り上げたくて
皆さん、楽しみにしてくれて
もっ、やめられませんかよ



INTERVIEW

葛飾区観光協会鎌倉支部は、観光資源を利用して観光客誘致をするのではなく、地域住民のための、地域住民によるまちおこしをしています。

最大のイベントは「鎌倉かなえ通りまつり」(フリーマーケット)。商店会の店舗など140団体が、かなえ通りに出店します。この日限りのお買い得品も多く、町会や警察、消防団、ボランティアなどの協力で、20年も続く一大イベントに成長しました。

葛飾区総合教育センター内にある「かまくら郷土資料館」の管理・運営も行っています。この地域は昔から農家が多く、実際に使っていた農機具や生活用具などを展示し、昔の農家の暮らしぶりを再現しています。まちの歴史を伝える貴重な資料として、小

学生たちが学習に訪れるなど、地域の方に有効利用されています。

まちが色彩豊かな花に包まれる「かまくら花いっぱい運動」は、中学生のボランティアなどの協力で開催され、年3回開催される「まんだら出前寄席」は、毎回多くの方でにぎわい、地域の身近な娯楽として親しまれています。

INTERVIEW

竹本 一夫さん

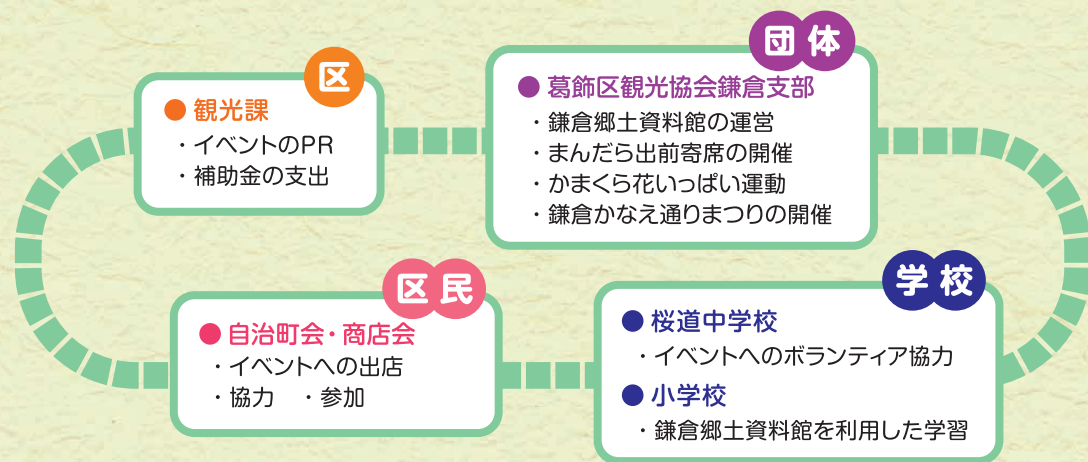


フリーマーケットは道路でやります。警察の許可が大変ですが、場所を広くして、みんなに楽しんでもらいたいです。ええ、盛り上がりますよ。だから20年も続いて、もっやめられませんか。

観光資源が少ない鎌倉で、なぜ観光協会?と、最初は名称に首をかしげられました。私たちは外から来てもらうより、地域を内から盛り上げたくて活動しています。

私自身、生まれ育ったまちに愛着があります。商店会や町会、消防団などが協力して、住んで良かったって思えるまちにしたいですね。

協働の仕組み



1 地域住民が協力し合って
まちおこし

2 まちの歴史を物語る
貴重な資料を展示

3 イベントが20年
継続は、まちの力なり



フリーマーケットは
大盛況
20年続く
人気イベントです



おそろいのアロハシャツを着た、実行委員の皆さん



魅惑的なフラダンスショー



中学校の吹奏楽部も出演



出店も楽しい

新小岩えきひろフェスティバル実行委員会

夏の風物詩ハワイアン
新小岩にフラダンスあり!



実行委員長 瀬尾 宏さん

フラダンスはすっかり定着しました。商店会や葛飾区など皆さんのおかげです

INTERVIEW

新小岩えきひろフェスティバルは、毎年7月に新小岩駅南口駅前広場で開催しているステージイベントです。実行委員会は、新小岩南地域にある6つの自治町会と9つの商店会で構成される新小岩南地域まちづくり協議会を母体に立ち上げました。

フェスティバルは、「トロピカルハワイアン」をテーマに、本場ハワイ州の協力も得て、地元のフラダンスグループや中学校の吹奏楽部、タヒチアンダンサーなどが出演、2日間ハワイアンでまちを盛り上げます。同イベントは、これまでに16回開催され、地元の住民や企業、学校、フラダンスグループが協力し合い、夏の風物詩としてすっかり定着しました。ステージでは、タヒチアンダンサー

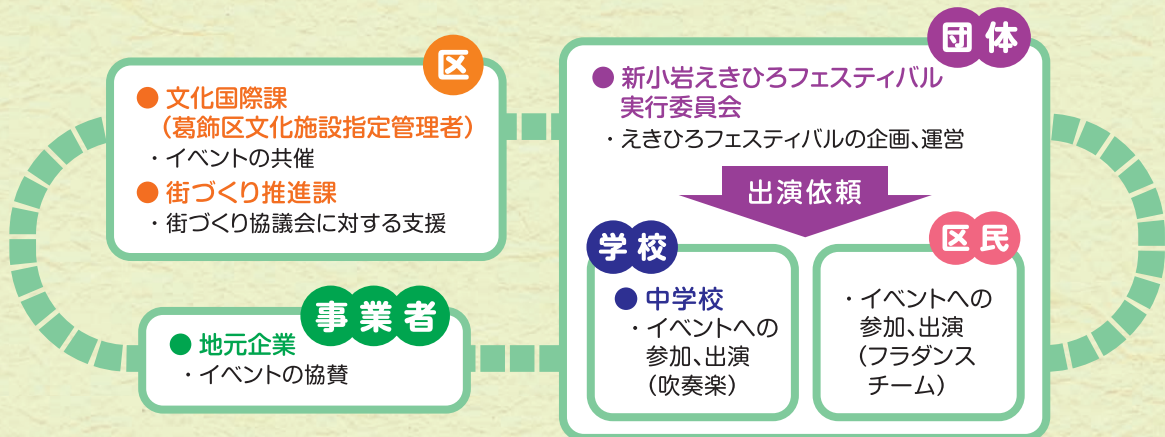
が見物人に声をかけ一緒に踊ったり、地元のフラダンスチームも本場に負けじと熱演。魅惑的なハワイアンの踊りで、華やきます。新小岩えきひろフェスティバルは、高円寺の阿波踊りのように、新小岩名物としてさらに広く認知されることをめざしています。

INTERVIEW

瀬尾 宏さん

夏休みが近づくと、今年はいつやるの? って聞かれます。すっかり定着しましたね。中学校の吹奏楽部が毎年人気があります。楽器運びなども自分たちでやり関心します。あとはフラダンス、もともと地域にフラダンスサークルが多かったので出演してもらいました。フラダンスが縁で、ハワイ州からは友好のしるしに州旗をいただきました。若い人たちも大勢手伝ってくれますよ。町会や商店会、葛飾区、そして周辺の民間企業、皆さんの協力のおかげで開催できます。今後も続けていきたいですね。

協働の仕組み



1 ハワイアンでにぎわい創出

2 地元のフラダンスチーム・企業・学校などが協力

3 ハワイ州と友好関係を築く



フェスティバルは盛り上がる
ハワイアン二色で



商店街の出店も盛況です



和太鼓も登場



ハーブの寄せ植え教室が人気

花・楽・Café 金町駅北口周辺地区
まちづくり協議会

盛況! 花と音楽の祭典 まちおこしは大学と共に



会長 秋吉 憲夫さん

協働の「コツ」は、求めすぎない
無理しすぎないことかな



INTERVIEW

花・楽・Caféは、金町駅北口周辺地区のにぎわいを創出する目的で、7つの商店会と8つの自治町会で組織するまちづくり協議会が進めている活動のひとつです。近年、金町駅南口の開発が進み、「北口も負けられない、何か活性化策を」と悩んでいる時に、東京理科大学が葛飾区に移転して来ました。そこで企画したのが東京理科大学のウェルカムイベントです。

花と音楽があふれるまちをテーマに、東京理科大学のオープンを記念して開催(平成25年3月)。以来、毎年定期的に開催し、地元の高校生や東京理科大学のジャズ&コーラスグループ、和太鼓のチームなどが演奏を披露、プリザーブドフラワーや寄せ植え教室などお花の教室も開催し、商店街の

各店舗が出店してイベントを盛り上げています。来場者は、地域の内外から2000人を超え、まちは華やかな活気に包まれました。
こうしたにぎわい創出の活動などと連携して、葛飾区は、まちづくり勉強会や地域課題の解決に向けた検討などを行っています。

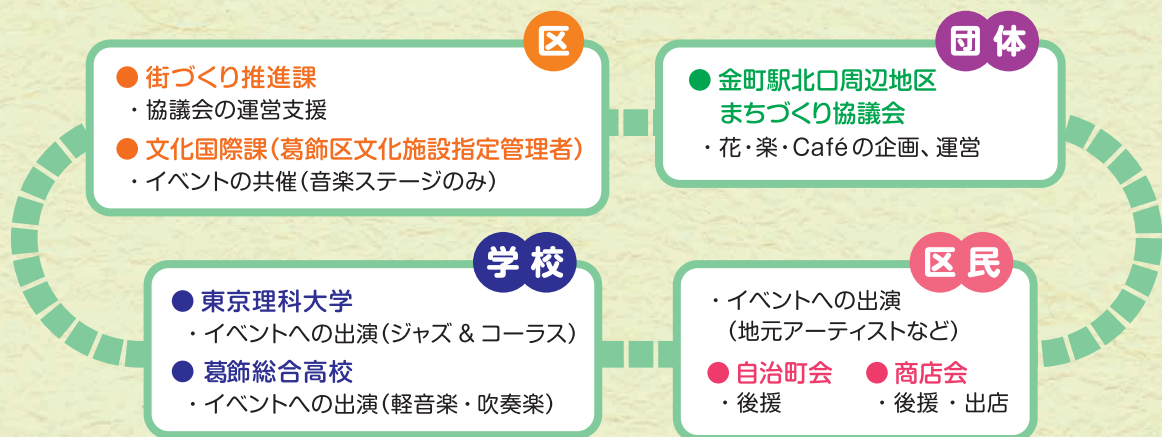
INTERVIEW

秋吉 憲夫さん

イベントには、びっくりするほど人が集まりましたね。やってよかったなあと思います。反響もすごく、年に2回やって欲しいとか、来年は自分が出演したいという声も多いです。この町にあんなに人が集まるなんて思いませんでした。当日や準備に、自治町会や商店会はもちろん、学生さんも手伝ってくれて助かりました。

協働の「コツ」は、求めすぎない、無理しすぎないことかな。頑張りすぎないで長く続けたいですね。イベントで深まった地域の交流を、今後のまちづくりで活かしたいと思っています。

協働の仕組み



1 産学官連携でまちおこし

2 金町駅北口の賑わい創出イベントとして定着

3 区と連携しまちづくり勉強会を開催



東京理科大学から合唱団が出演イベントを盛り上げています

平成27年度実地研修の内容

花いっぱいのまちづくり



事前ガイダンスで花いっぱいのまちづくりについて理解を深めたうえで、活動者と一緒に学校や保育園内で花壇活動(花の植え替え等)を行いました。作業終了後、活動者と意見交換を行いました。

活動団体

- 上小松四季の会
- Flower Children
- 松南の森プロジェクト

かつしか区民大学(農業応援サポーター養成講座)



区民大学講座を企画検討している活発な議論の場に参加し、運営委員との意見交換を通じて区民大学の基本を学んだうえで、講座を修了し活動をしているサポーターや千葉大学の学生、講座に参加している区民と一緒に種まきなどの農作業を行いました。作業終了後、参加者と意見交換を行いました。

活動団体

- 区民運営委員会※1
- 農業応援サポーター(講座修了者)
- 千葉大学学生(講師)
- 講座参加者

区民健康体力テスト測定会

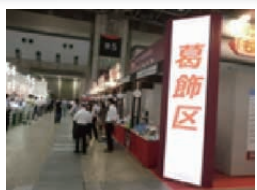


事前ガイダンスで区のスポーツ行政について理解を深めたうえで、測定会に従事し、スポーツ推進委員と一緒に測定補助を行うとともに、研修生自身も自らの体力測定を行いました。

活動団体

- スポーツ推進委員

機械要素技術展※2



事前の企業訪問で担当企業の商品や技術について学ぶとともに、商品や技術に対する思いを深めたうえで、当日は葛飾区ブースに来訪されたお客様に対して担当企業のPRをし、簡単な質疑応答を行いました。

活動団体

- 区内出展企業15社

※1 公募により決定した区民運営委員が区民大学の講座の企画や運営を行う委員会です。

※2 東京ビックサイトにて行われた、ねじ・バネなどの部品や金属・樹脂に関する加工技術を有する企業を一同に集めた専門展覧会です。

問い合わせ

人材育成課

直通電話番号 03-5698-2611

採用2年目職員の「協働研修」をご紹介します!!

目的

葛飾区では、新人から管理監督者までの職員を対象に、協働意識の醸成を図る研修を実施しています。特に、採用2年目の職員は、区民・事業者と協働で研修を実施しています。

これは、区内の団体や企業等が活動する現場に赴き、活動されている皆さんと同じ作業を行い一緒に汗を流すことで、皆さんがどのような思いを持って活動に携わっているのかを肌で感じ、その体験を今後の仕事にどう活かしていくかを考えていくものです。



採用2年目

内容

1 導入研修

協働について理解を深め、本研修の目的や学習テーマを明らかにする(5月)

2 実地研修(区内活動団体等への派遣)

団体等が活動する現場に赴いて区民の声を直接聞くことで、協働のパートナーに対する理解と知識を深めるとともに、区の現状と課題を知る(5~6月)

3 振り返り研修

これまでに学習したことを自らの仕事の中で活かすため、個々の体験や学びを共有するとともに、体験の意味を明らかにし、協働に対する意識を更に高めていく(8月)



研修生の感想

区と団体が一体となって、同じ目的を持って取り組んでいるのを肌で感じました。

区民がやりがいを持ち、活躍できる場を提供することが、職員にとって必要だと感じました。

1 講座を選ぶ

講座一覧よりご希望の講座をお選びください。

2 講座の連絡先に連絡する

受講希望日の20日前までに、講座の連絡先にご連絡ください。なお、日時は調整が必要な場合がありますので受講希望日を3日程度お伝えください。

3 講座の連絡先に申込書を出す

受講希望日を確認後、講座の連絡先へ所定の申込書をご提出ください。

4 出前講座実施

区職員が会場へ伺いお話しします。

対象

区内在住・在勤・在学の10人以上の団体・グループ

日時

午前9時～午後9時の2時間以内（年末年始を除く）

会場

区内のご希望の場所
(会場については、申込み団体・グループでご用意ください)

申込書配布

区ホームページ・区民事務所・地区センター・図書館

この講座は、政治・宗教・営利活動を目的とした催しには利用できません。また、区に対する陳情などをお受けする目的で行うものではありませんので、ご理解のほどお願いいたします。

出前講座についてのご質問は

政策企画課 協働推進担当

電話 **03-5654-8177**

葛飾区協働推進担当からのお知らせ

葛飾区職員出前講座をご利用ください



職員出前講座とは…

葛飾区では、かねてよりさまざまな方々によって、地域を良くしようとする活動が行われてきました。区民・事業者の皆さんと区が「協働」することで、こうした活動を一層素晴らしいものにすることができます。

協働するためには、まず区の現状や取り組みなどの情報を共有することが大切です。**葛飾区職員出前講座は、区職員が皆さんの地域に伺い、区の現状や取り組みについてお話しするものです。**



さまざまなメニューをご用意しています。どうぞお気軽にご利用ください。メニュー一覧を掲載しているパンフレットは、区役所、区民事務所、地区センター、図書館で配布しております。また、区公式ホームページ(<http://www.city.katsushika.lg.jp/>)にも掲載しております。